



取扱説明書

DVA-9860J MP3/WMA DVDヘッドユニット

MP3

4i-NET



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
<一般回線ご利用のお客様用>
TEL: 0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
<携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用>
TEL: 048-662-6636
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX: 048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in China (Y-595)

68-02278Z19-B

⚠ 安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



車体に穴をあける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を使用する、極性を間違えるなど、しないでください。電池の破裂・液漏れや火災・ケガの原因になります。



取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口や可動ディスプレイのすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

製品のお手入れ

お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくで正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起すことがあります。プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用すると、レンズの破損や故障の原因となります。

本機で再生できるディスクについて

●再生できるディスク

本機では次のディスクが再生できます。

マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVD ビデオ	DVD VIDEO	12cm*	片面 ディスク 約4時間
			両面 ディスク 約8時間
		8cm	片面 ディスク 約80分
			両面 ディスク 約160分
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD	12cm	約74分
		8cm	約20分
音楽 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	12cm	約74分
		8cm (CDシングル)	約20分

*DVD二層ディスクに対応しています。

**ディスクレーベル面に「CDロゴ」上記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

●再生できないディスク

DVD-ROM、DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、CD-ROM（MP3/WMAファイルを除く）、フォトCD、ナビゲーション専用ディスクなど。

●DVDリージョン番号（再生可能な地域番号）について

このDVDヘッドユニットのリージョン番号は2です。DVDビデオディスクに表示されている地域番号が下記のようなリージョン番号  を含んでいないまたは、 が表示されていないディスクは再生できません。なお、リージョン番号の設定を変更することはできません。



●ビデオCDについて

本機は、プレイバックコントロール（PBC）付き対応ビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。PBCとはディスクに記録されているメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を対話形式で楽しむことができることを言います。

●コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）のご使用について

CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最適な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R（CD-Recordable）／CD-RW（CD-ReWritable）、MP3/WMAファイル形式のCD-R／CD-RWの再生が可能です。

次のようなディスクは、再生できないことがあります。
指紋やキズが付いている／車内や製品内に長時間放置した／データ書き込み状態が不安定／データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

MP3/WMAファイルは本機対応のフォーマットで記憶したディスクを使用してください。詳しくは76ページを参照してください。

●コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼らない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

●CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- ・CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- ・行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度お試しください。

●DVD-R/DVD-RWディスクのご使用について

- ・本機は、DVD-Videoモードで記録されたディスクにのみ対応しております。DVD-VRモードで記録されたディスクの再生はできません。
- ・ファイナライズ処理（再生専用DVDプレーヤーで再生可能にするための処理）がされていないディスクは再生できませんのでご注意ください。
- ・ディスクの書き込みに使用した機器の仕様によっては再生できない場合があります。（本機には違法コピー検出機能を有しております。違法コピーを検出した際は再生を行いません。正しい方式で記録されないPCソフトで記録した場合、本機では違法コピーと検出する場合があります）
- ・録画に使用したDVDレコーダやDVD-R/DVD-RWディスクの特性、傷、汚れ、またはDVDプレーヤーのピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- ・DVD-R/DVD-RWディスクの取り扱いにあたっては、ディスクの使用上の注意を必ずお守りください。
- ・DVD-R/DVD-RWディスクのレーベル面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- ・DVD-R/DVD-RWディスクは通常のDVDに比べ高温多湿環境や直射日光に弱く、一部のディスクや長時間車室内に放置したディスクは再生できない場合があります。

●ディスクに関する用語について

タイトル

DVDビデオディスクに記録されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

タイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

●取り扱い上のご注意（ディスク）

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

ディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

※本機は、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

※ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY、ドルビー、PRO LOGICおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

※DTSおよびDTS 2.0+Digital Outは米国Digital Theater System, Inc.の登録商標です。

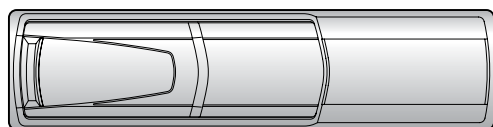
※Windows Media™およびWindows™ロゴは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

※Apple,iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。

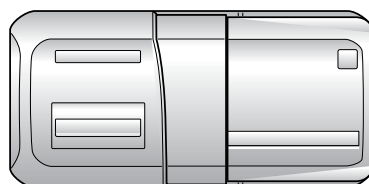
※MPEG Layer-3オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonから実施許諾されています。

※本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com>にアクセスして下さい。

CDも、MDも、お気に入りのアルバムは、 アルパインのチェンジャーにスタンバイ！！



CD CHANGER CHA-S634



MD CHANGER MHA-S670

車室内にもセットできる超小型サイズのCD6枚チェンジャーが、CD-R/CD-RWの再生、さらにMP3再生にも対応して新登場。人気のMDソースが思う存分楽しめるMDチェンジャーも、大ブレイク。車室内で“いい音”を楽しむ技術にかけては最先端のアルパイン。そのヘッドユニットをセンターに、車や聴きたいソースにあわせて高音質チェンジャーを拡張装備すれば、もっと“いい音”に抱かれる快適ドライブが実現。アルパインのチェンジャーにプラスして、あなたも、感動のノンストップデジタルパワープレイを、どうぞこころゆくまで！

- 別売のKCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど（外部入力）2台、計4台の製品を接続することができます。
- CHA-S634は、M.I.X. ALL機能はありません。



目次



安全にお使いいただくために

警告／注意	2
本機で再生できるディスクについて	3
目次	6



基本操作

基本操作

リセットする	8
電源のON/OFF	8
音量／バスレベル／トレブルレベル／バランス／フェダー ／ディフュージョン調整	8
セットアップ (SETUP) について	9
DVDの初期設定 (SETUP) について	9

DVD／ビデオCD

DVD／ビデオCD操作

DVD／ビデオCDを再生する	10
再生中止 (PRE-STOP)	11
再生停止	11
早送り／早戻し	11
チャプター／トラックの頭出し	11
静止 (一時停止) する	12
コマ送り／戻し再生	12
スローモーション再生	12
タイトル番号で頭出し (DVDのみ)	12
チャプター／トラック番号で直接頭出し	12
チャプター／トラック／タイトルリピート再生	13
音声言語切りかえ	13
アングル切りかえ (DVDのみ)	14
サブタイトル (字幕言語) 切りかえ (DVDのみ)	14
ディスクの使用状態を表示する (DVDのみ)	15
ディスクの使用状態を表示する (ビデオCDのみ)	15

CD

CD操作

CD (ディスク) を聴く	16
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	16
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	17
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	17
CDテキストから探す	17

MP3/WMA

MP3/WMA操作

MP3/WMAを聴く	18
フォルダを選択する	18
フォルダ／ファイルサーチ	18
曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)	19
曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)	20
繰り返し聴く REPEAT (リピート)	20

チェンジャー

チェンジャー操作

チェンジャーでMD/CDを聴く	21
MP3再生データの設定	21

ラジオ

ラジオ操作

ラジオを聴く	22
放送局を記憶する	22
自動的に放送局を記憶する	22
記憶した放送局を受信する	23
道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)	23
放送局タイトルから探す	23
放送局 (周波数) から探す	23

タイトル／テキスト

タイトル／テキスト操作

タイトル／テキスト／スクロールとは	24
タイトル／テキストを表示する	24
タイトルをつける	25
スクロールの設定	26
スクロールタイプの設定	26
記憶したタイトルを消す	26

サウンド

サウンド調整

BBEモードの設定	27
低音を強調する (バスセンター周波数)	28
高音を強調する (トレブルセンター周波数)	28

便利な機能

便利な機能

ミュートのON/OFF	29
壁紙を設定する	29
照光スイッチの色を切りかえる	29
照光スイッチの明るさ調整	29
時刻を表示する	30
時刻を設定する	30
デモンストラレーション機能	30

拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する	31
サブウーハーシステムの設定	31
外部アンプを接続する	32
外部入力の設定	32
外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)	33
外部割り込みモードの設定	33
光デジタル対応オーディオプロセッサを接続する	34

DVDの初期設定 (SETUP)

言語設定を変更する	35
TVスクリーン設定を変更する	36
カントリーコード設定を変更する	37
視聴規制 (パレンタルロック) を設定する	37
デジタル出力設定を変更する	38

カスタム設定 (CUSTOM SETUP)

CD 再生モードを設定する	39
ビデオCD再生モードを設定する	39
一時停止時の映像出力を設定する	40
ダウンミックスを設定する	40

オーディオプロセッサー

外部オーディオプロセッサーの操作（オプション）

ドルビーサラウンドの調整手順	41
スピーカーの設定をする	42
外部オーディオプロセッサーのMXモードを設定する	42
X-OVERの設定	43
時間補正を行う（TCR）／位相切りかえ	44
グラフィックEQの調整	45
パラメトリックEQの調整	46
Bass Compressorの設定	47
Bass Focusの設定	47
スピーカーセットアップ	48
Dolby 5.1chを設定する	48
PRO LOGIC IIを使う	51
リニアPCMの設定	52
記憶する	52
記憶した値の呼び出し	52
リモコンで操作する	53

iPod™

iPod™操作

iPod™の曲を聴く	54
聴きたい曲を探す	54
クイックサーチ	55
曲順を変えて聴く シャッフル（M.I.X. ミックス）	56
繰り返し聴く REPEAT（リピート）	56
テキストを表示する	56

リモコン

リモコン操作

使用時のご注意／電池を入れる	57
リモコンボタンの機能	58



取り付けと接続

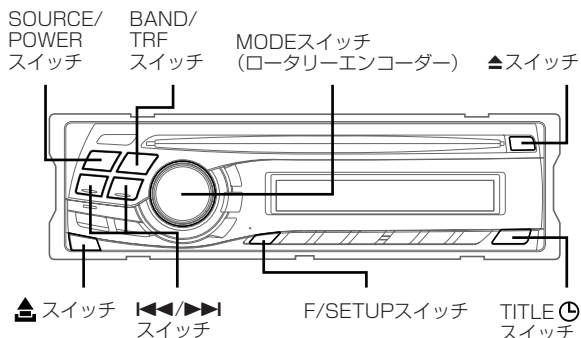
取り付けと接続	59
---------	----

その他

故障かな？と思ったら	67
規格	70
保証について	70
お問い合わせ窓口	71
Q&A	72
用語解説	73
言語コード表	74
DVDについて	75
MP3/WMAについて	76
索引	77



基本操作



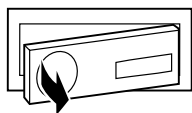
基本操作

リセットする

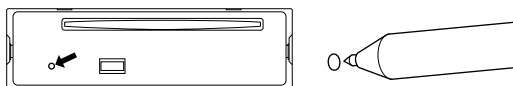
初めて使うときや、チェンジャー等を取り付けたり車のバッテリーを交換したときは、リセットしましょう。

- 1 電源が切れているか確認する。入っている場合には、「SOURCE/POWER」を2秒以上押して、電源を切る。

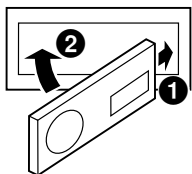
- 2 「▲」を押す。
パネルの左端をつかんで、静かに手前に取り外す。



- 3 リセットスイッチをペン先などで押す。



- 4 右端の角へパネルを斜めに合わせる。
右側を押さえながら、左端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込む。



- 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっても故障ではありません。
- リセットすると、時刻など記憶した内容が消去されます。もう一度、登録し直してください。
- 取り外したパネルを取り付ける前にコネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。

電源のON/OFF

- 1 イグニッションキー（エンジンキー）をACCまたはONにする。
- 2 「SOURCE/POWER」を押す。
電源が入る。
- 3 電源を切るときは、「SOURCE/POWER」を2秒以上押す。



- 電源は「▲」、「▲」、 「TITLE ⌚」以外のどのスイッチを押しても入ります。また、ディスクを挿入すれば電源が入ります。

音量/バスレベル/トレブルレベル/バランス/フェダー/ディフィートの調整

- 1 「MODE」（ロータリーエンコーダー）を押して調整したいモードを選ぶ。



- 2 5秒以内に「MODE」（ロータリーエンコーダー）を回転させて、好みのレベルに調整または設定する。



- SUBW（サブウーハー）が「OFF」に設定されている場合は、SUBWのレベル調整は行えません。(31ページ参照)
- モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなってきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いがした場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。
- 外部オーディオプロセッサ接続時は、ディフィートができない場合があります。

セットアップ (SETUP) について

本機には、さまざまなセットアップ (SETUP) 機能が用意されています。例えば、ディスクテキストなどのスクロール表示を設定する「スクロール設定」など、自分好みの設定に変更することができます。

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、各設定モードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、設定を行う。
- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻ります。

設定項目	参照ページ	設定内容
照光スイッチの色合い設定	29	ILLUMI BLUE /GREEN/AMBER/RED
照光スイッチの明るさ調整	29	DIMMER AUTO /MANU
サブウーハーON/OFF	31	SUBW ON /OFF
サブウーハーのシステム設定※1	31	SUBW SYS 1 /SYS 2
MP3再生データの設定※3	21	CDDA / CDDA/MP3
スクロールタイプの設定	26	SCROLL TYPE1 /TYPE2
スクロール設定	26	SCROLL MANU /AUTO
外部割込みの設定	33	MUTE ON /OFF
外部入力の設定	32	AUX IN ON / OFF
AUX表示切りかえ※2	32	AUXILIARY /TV /VTR/GAME
外部アンプ接続時の設定	32	POWER IC ON /OFF
デジタルアウトの設定	34	OPT OUT ON / OFF
外部オーディオプロセッサ接続時の設定	34	OTHER /H510
デモのON/OFF	30	DEMO ON / OFF

太字部分が工場出荷時の設定ポジションです。
 ※1 SUBW ONのとき表示される。
 ※2 AUX IN ONのとき表示される。
 ※3 MP3対応CDチェンジャー接続時のみ設定。

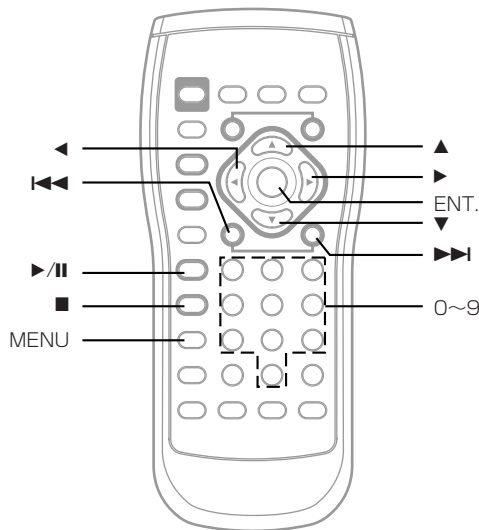
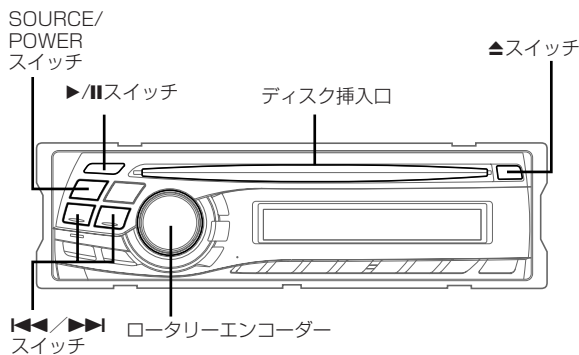
DVDの初期設定 (SETUP) について

DVDソフトには、複数の言語（音声や字幕など）を記録しているものや、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない映像の視聴を制限できるものなどがあります。それらのDVDソフトを視聴するときに、毎回設定するのは大変になります。そこで、あらかじめそれらの内容を設定することができます。

設定内容は以下のとおりです。
 設定方法については、各項目のページをご覧ください。

設定項目	参照ページ	設定内容
言語設定 (LANGUAGES)	35	音声/字幕/メニュー言語 AUTO
TVスクリーン設定 (TV SCREEN)	36	16:9(WIDE) /4:3(LB)/ 4:3(PS)
カントリーコード設定 (COUNTRY CODE)	37	7480 (日本)
視聴規制設定 (PARENTAL)	37	規制レベル値 (1~8、 OFF)
デジタル出力設定 (DIGITAL OUT)	38	DOLBY D /DTS/MPEG
カスタム設定 (CUSTOM SETUP)		
CD再生モード設定 (CD PLAY MODE)	39	CD-DA /COMPRESSED AUDIO
ビデオCD再生モード設定 (VCD PLAY MODE)	39	PBC ON /PBC OFF
一時停止設定 (PAUSE MODE)	40	AUTO /FIELD/FRAME
ダウンミックス設定 (DOWNMIX MODE)	40	STEREO/ SURROUND ENCODED

太字部分が工場出荷時の設定ポジションです。



DVD／ビデオCD操作

- DVD/ビデオCD操作は、添付リモコン、本体（一部除く）の両方から操作することができます。本項目では、リモコンと本体からの操作をあわせて説明致します。
- DVD/ビデオCDを観るときは、別売モニターが必要となります。
- プレイポジションメモリ機能：
再生中に電源またはイグニッションキーをOFFにしたり、ソースを切りかえても次に電源をONすると続きから再生します。

DVD／ビデオCDを再生する

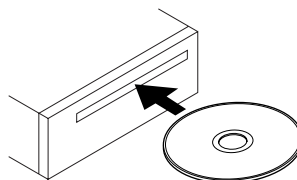
- ⚠ 注意**
- DVDの場合、ディスクによって各種操作を禁止しているものもあり、これらのディスクでは操作を受け付けられない場合があります。
 - ディスクによっては本書で説明している操作とは異なる場合があります。ディスクの説明書も合わせてご覧ください。
 - ディスクに指紋が付くと再生しない場合があります。再生しない場合は、ディスクを取り出し、きれいにふき取ってからご使用ください。
 - リモコンのボタンを押すときは、1つずつ確実に押してください。同時に複数のボタンを押すと誤動作の原因になります。
 - 再生中に電源またはイグニッションキーをOFFにする、またはソースを切りかえても、次に電源をONにすると続きから再生します。ディスクを取り出した場合はプレイポジションメモリは解除されます。
 - ディスクまたは再生状態によって禁止している操作があります。ⓧマークが表示された場合は、その操作は受け付けできません。
 - PAL方式のディスクを挿入した場合は、メッセージを表示して再生できません。

1 ディスクを挿入する。

再生が始まる。

<挿入時の注意>

- ラベル面を上にする。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、DISCモードにすると演奏が始まります。

→ TUNER → DISC → CHANGER ※

(※チェンジャー接続時のみ)

- 両面ディスクのDVDは、自動でウラ面を再生しません。ディスクを取り出しウラ返しに入れ直してください。
- プレイバックコントロール (PBC) 付きビデオCD再生中にSELECT画面が表示された場合は、「>||」を2秒以上押すと再生されます。

2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量（0～35）を調整する。

3 ディスクを取り出すときは、本体の「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

● メニュー画面が表示されたら

DVDやプレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDでは、自動的にメニュー画面が表示される場合があります。この時は次の操作を行い再生させてください。



- ディスクによって異なりますが、リモコンの「MENU」を押してメニュー画面を表示させることもできます。

DVDメニュー

リモコンの「▲」「▼」または「◀」「▶」を押して希望の項目を選び「ENT.」を押す。



- ディスクによっては「0～9」（10キー）で直接メニュー項目を選ぶことができます。

ビデオCDメニュー

リモコンの「0～9」（10キー）を使い希望する番号を選び「ENT.」を押す。



- PBCがOFFになっている場合はメニュー画面は表示されません。詳しくは「ビデオCD再生モードを設定する」（39ページ）を参照してください。

再生中止（PRE-STOP）

再生中に停止ボタンを押すと止まり、その位置を記憶します。

1 再生中にリモコンの「■」を1回押す。
「PRE-STOP」と表示される。

2 PRE-STOP中に「▶/II」を押す。
再生中止した位置から再生される。



- ディスクによってはPRE-STOPしたとき、再生中止位置を正しく記憶できない場合があります。

再生停止

1 再生中にリモコンの「■」を2回押す。
「STOP」と表示される。



- 「■」を2秒以上押しても再生は停止しません。
- 停止中に「▶/II」を押すと始めから再生されます。

早送り／早戻し

1 再生中に「◀◀」（早戻し）または「▶▶」（早送り）を押し続けると、2倍速で早送り／早戻しする。さらにその状態で5秒以上押し続けると8倍速で早送り／早戻しができる。

2 通常再生に戻すには「◀◀」または「▶▶」をはなす。



- 早送り／早戻し中に音声は出力されません。
- PBC（プレイバックコントロール）付きビデオCDでは、再生中のトラックのみ早送り／早戻しができます。
- DVDおよびプレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDでは早送り／早戻し中にメニュー画面に戻ることがあります。

チャプター／トラックの頭出し

1 再生中に「◀◀」または「▶▶」を押す。
押すたびにチャプター／トラックが切りかわる。選んだチャプター／トラックの再生が始まる。

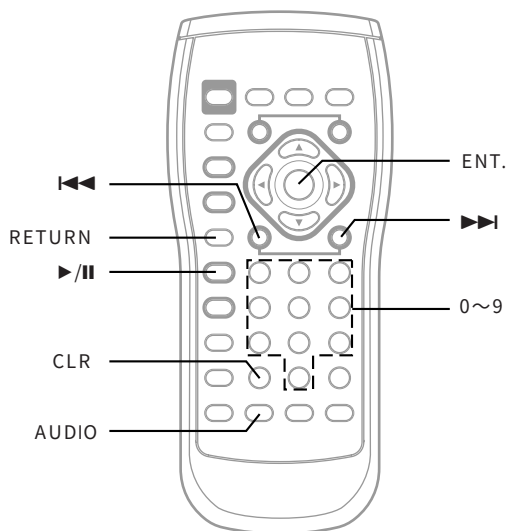
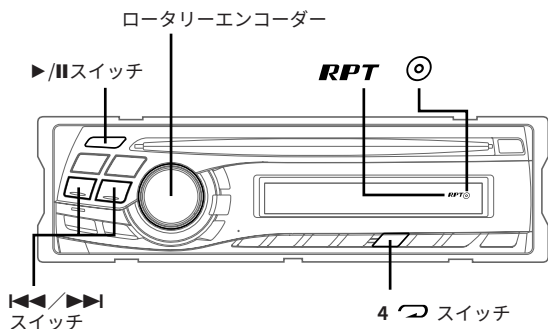
▶▶ 一つ後のチャプター／トラックの頭から再生。
◀◀ 現在のチャプター／トラックの頭から再生。続けて押すと、一つ前のチャプター／トラックの頭から再生。



- DVDによっては、チャプターが無いものもあります。
- PBC（プレイバックコントロール）付きビデオCDでは、トラックの頭出しができない場合があります。「ビデオCD再生モードを設定する」（39ページ）をPBC OFFに設定してください。

補足説明

チャプターとは、DVDに記憶されている映像や曲の区切り。トラックとは、ビデオCDやCDに記憶されている映像や曲の区切り（1曲分）。



静止（一時停止）する

- 1 再生中に「▶/||」を1回押す。
- 2 再度、再生するには「▶/||」を押す。



- 静止中に音声は再生されません。
- 一時静止画（ポーズ）の状態から再生を開始すると画像や音声が一瞬止まる場合がありますが故障ではありません。

コマ送り／戻し再生

- 1 一時停止中に「◀◀」または「▶▶」を押す。
押すたびに1コマずつコマ送り／戻し再生する。
- 2 通常再生に戻すには「▶/||」を押す。



- コマ送り／戻し再生中に音声は再生されません。
- ビデオCDではコマ戻し再生はできません。

スローモーション再生

- 1 一時停止中に「◀◀」または「▶▶」を押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生になる。
さらにその状態で5秒押し続けると1/2倍速にスローモーションの速度が変わる。
- 2 「◀◀」または「▶▶」をはなすと、一時停止になるので、「▶/||」を押して再生させる。



- スローモーション再生中に音声は再生されません。
- スライドショーを再生中にスロー再生はできません。
- 1/2倍速、1/8倍速はおおよそその速さです。ディスクによっても異なります。
- ビデオCDではバックスローモーション再生はできません。

タイトル番号で頭出し（DVDのみ）

DVDに記憶されているタイトルから簡単に頭出しできます。

- 1 再生停止中に、再生させたいタイトル番号をリモコンの「0」～「9」で入力する。
- 2 リモコンの「ENT.」を押す。
選んだタイトル番号から再生が始まる。



- PRE-STOPの状態ではチャプター／トラック番号の頭出しになります。
- タイトル番号が記憶されていないディスクでは頭出しはできません。
- タイトル番号が2桁のときは、手順2の「ENT.」を押さなくても自動で再生が始まります。
- 「CLR」を押すたびに、タイトル番号を1桁ずつ消去できます。「CLR」を2秒以上押すと、タイトル番号をすべて消去できます。
- 「RETURN」を押すと、頭出しモードは解除されます。

チャプター／トラック番号で直接頭出し

ディスクに記憶されているチャプター／トラックを簡単に頭出しできます。

- 1 再生中またはPRE-STOP中に、再生させたいチャプターまたはトラック番号をリモコンの「0」～「9」で入力する。
- 2 リモコンの「ENT.」を押す。
選んだチャプター／トラックから再生が始まる。



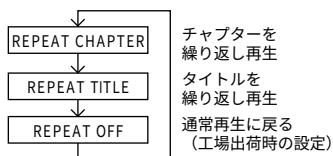
- チャプターが記憶されていないディスクでは頭出しはできません。
- PBC（プレイバックコントロール）付きビデオCDでは、トラック番号の直接頭出しはできません。「ビデオCD再生モードを設定する」（39ページ）をPBC OFFに設定してください。
- 入力桁数によっては、手順2の「ENT.」を押さなくても自動で再生が始まります。
- 「CLR」を押すたびに、チャプター／トラック番号を1桁ずつ消去できます。「CLR」を2秒以上押すとチャプター／トラック番号をすべて消去できます。
- 「RETURN」を押すと頭出しモードは解除され通常再生に戻ります。

チャプター／トラック／タイトルリピート再生

ディスクのタイトルやチャプター、トラックを選び繰り返し再生できます。

- 1 再生中に本体の「4（）」を押す。
押すごとにリピートの種類が変わる。

DVD



- 「4 」を2秒以上押すと、強制的に REPEAT OFFになります。

ビデオCD



※DVDチェンジャー接続時のみ



- プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDではトラックリピート／ディスクリピートは使用できません。「ビデオCD再生モードを設定する」（39ページ）をPBC OFFに設定してください。
- ディスクによってはリピートの種類が切り換えられない場合があります。

音声言語切りかえ

複数の音声または音声言語が記録されているDVDでは、再生中に音声言語を一時的に切りかえることができます。

- 1 再生中にリモコンの「AUDIO」を押す。
押すごとにディスクに記録されている音声が変わる。

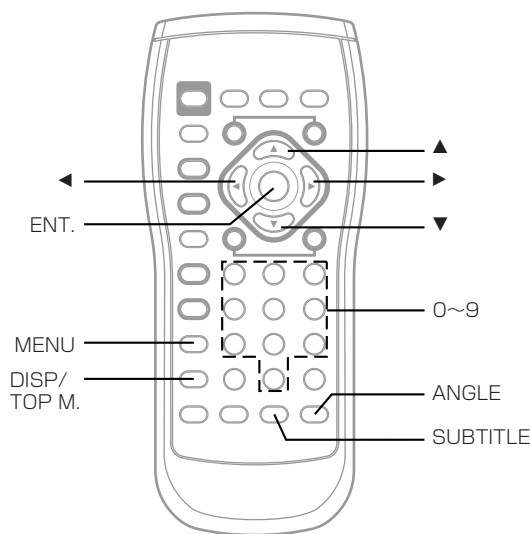


- 電源投入時／ディスク交換時は初期設定（35ページ）で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによっては再生中の切りかえができない場合があります。そのときはディスクメニューから音声を選んでください。
- 音声変更まで多少時間がかかる場合があります。

- 多重音声記録されているビデオCD

- 1 再生中にリモコンの「AUDIO」を押す。
押すごとにLチャンネル、Rチャンネル音声の組み合わせが変わる。

LR → LL → RR → LR



アングル切り換え (DVDのみ)

複数のアングルで撮影された映像が記録されているDVDでは、再生中にアングル（角度）を切り換えることができます。

1 再生中にリモコンの「ANGLE」を押す。

押すごとにディスクに記録されているアングルが切りかわる。



- アングル変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによって異なりますがアングル切り換えには2種類あります。
 - ・ シームレス：つぎめなくスムーズにアングルが切りかわる。
 - ・ ノンシームレス：アングル切り換え時、一瞬静止画となりその後アングルが切りかわる。

サブタイトル（字幕言語）切り換え (DVDのみ)

複数の字幕言語が記録されているDVDでは、再生中に字幕言語を切り換えたり非表示にすることができます。

1 再生中にリモコンの「SUBTITLE」を押す。

押すごとにディスクに記録されている字幕言語が切りかわる。また字幕をOFFにする。



- 字幕言語変更までに多少時間がかかる場合があります。
- ディスクによっては再生中の切り換えができない場合があります。そのときはディスクメニューから選んでください。
- 電源投入時／ディスク交換時は初期設定（35ページ）で設定されている言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによってはOFFに設定しても、サブタイトルが表示される場合があります。

● ディスクメニューからの切り換え

ディスクによって異なりますが、音声言語、アングル、サブタイトルをディスクメニューから切り換えることができます。

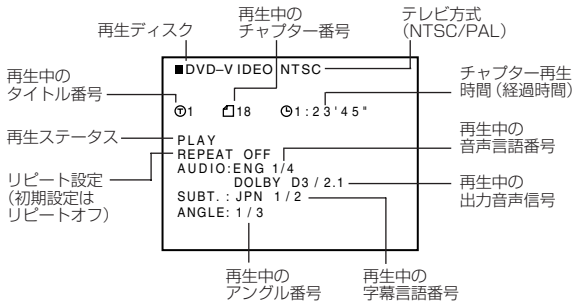
- 1 「MENU」を押してメニューを表示させ、項目を選び「ENT.」を押す。
- 2 「▲」「▼」または「◀」「▶」を押して言語またはアングルを選び「ENT.」を押す。（ディスクによっては言語またはアングルメニュー表示中に「0～9」で選ぶことができます。）



ディスクの使用状態を表示する（DVDのみ）

再生中のDVDビデオディスクの状態（タイトル番号、チャプター番号など）をモニター画面に表示して確認することができます。

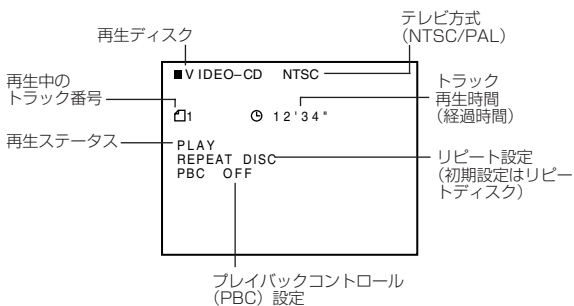
- 1 再生中にリモコンの「DISP/TOP M.」を押す。
再生状態が表示される。
- 2 解除するには、再度「DISP/TOP M.」を押す。



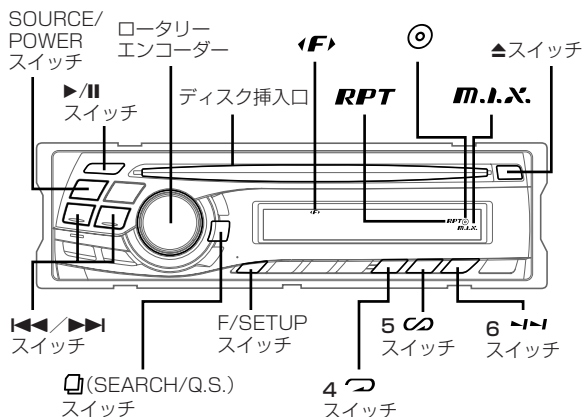
ディスクの使用状態を表示する（ビデオCDのみ）

再生中のビデオCDの状態（トラック番号など）をモニター画面に表示して確認することができます。

- 1 再生中にリモコンの「DISP/TOP M.」を押す。
再生状態が表示される。
- 2 解除するには、再度「DISP/TOP M.」を押す。



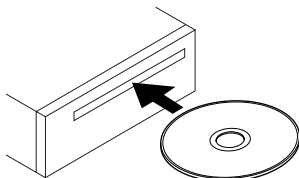
- PBC ONのときは再生中のトラック番号、トラック再生時間は表示されません。



CD操作

CD（ディスク）を聴く

- 1 ディスクを挿入する。
演奏が始まる。
<挿入時の注意>
●ラベル面を上にする。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、DISCモードにすると演奏が始まります。

→ TUNER → DISC → CHANGER ※

(※チェンジャー接続時のみ)

- シングルCD (8cm CD) は、そのまま使用できますので、アダプターは使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
- CDテキストが入ったディスクなど、ディスクによっては演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量 (0～35) を調整する。

- 3 「⏮」または「⏭」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

- 演奏中の曲の頭出し …「⏮」を押す。
- 早戻し ……………「⏮」を押し続ける。
- 次の曲の頭出し ……………「⏭」を押す。
- 早送り ……………「⏭」を押し続ける。

TO1 → TO2

- 4 演奏を一時停止するときは、「⏮」を押す。
再度「⏮」を押すと、演奏が再開する。

- 5 ディスクを取り出すときは、「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。

曲のイントロだけを聴く SCAN (スキャン)

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「6 1/2」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

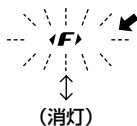
TOB SCAN

- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「6 1/2」を押す。
その曲の演奏を続ける。

- チェンジャーモードのとき、
曲のイントロだけを聴く／繰り返し聴く／
曲順を変えて聴く

上記機能をお使いの場合は、次のように
<フインジケーター>を点灯させてから、10秒
以内に各操作手順で行ってください。

- 1 「F/SETUP」を押す。



曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「5 」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。

内蔵CDモード時



チェンジャーモード時



- 2 解除するには、再度「5 」を押す。



●チェンジャーモード時

- ・「M.I.X.」を指定すれば、ディスクの曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していきます。
- ・「 M.I.X.」(ALL M.I.X.)を指定すれば、1曲ずつディスクを変えながら演奏します。(ALL M.I.X. 対応チェンジャーのみ。MP3 対応チェンジャーはALL M.I.X. に対応してありません。)
- ・「RPT 」(RPT ALL) 演奏中に「M.I.X.」を指定すれば、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「4 」を押して、<RPTインジケーター>を点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。



(※チェンジャーモード時)

- 2 解除するには、再度「4 」を押す。



●チェンジャーモード時

- ・「RPT 」(RPT ALL) を指定すれば、そのディスクを繰り返し演奏させることができます。
- ・「M.I.X.」(M.I.X. ONE) 演奏中に REPEATモードをONにすると、そのディスク内でのM.I.X.演奏になります。

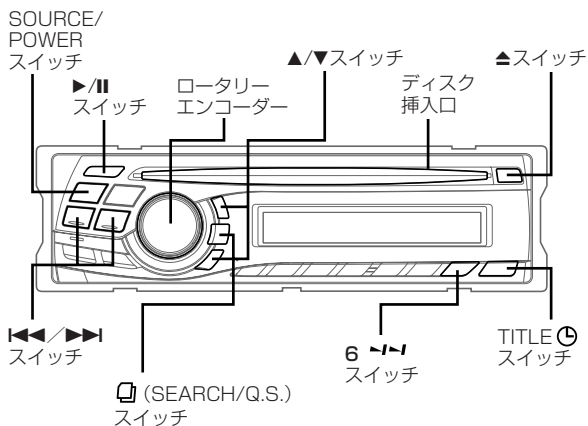
CDテキストから探す

CDテキストから曲(トラック)を検索し演奏させることができます。テキスト未対応のディスク/チェンジャーの場合は、トラックNo.から検索できます。

- 1 演奏中に「」(SEARCH/Q.S.)を押す。
サーチモードになる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の曲を選ぶ。
- 3 「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだ曲を演奏する。



- サーチモード中に「」(SEARCH/Q.S.)を2秒以上押す、または10秒間操作を行わないと、サーチモードは解除されます。



MP3/WMA操作

本機内蔵のプレーヤーでMP3/WMA再生が行えます。

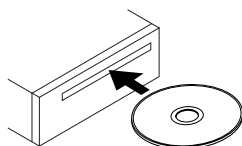
MP3/WMAを聴く

本機で再生できるMP3/WMAは、本機対応のフォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは、「MP3/WMAについて」(76ページ)を参照してください。なお、WMA形式のDRM(著作権管理 Digital Rights Management) システムのWMAファイルは、本機では再生できません。

- 1 MP3/WMAファイルが収録されたディスクを挿入する。
MP3/WMAファイルを検索し、演奏が始まる。
MP3/WMAのディスクは、演奏が始まるまで時間がかかる場合があります。

<挿入時の注意>

- ラベル面を上にする。



- すでにディスクが入っているときは、「SOURCE/POWER」を押して、DISCモードにすると演奏ははじまります。

→ TUNER → DISC → CHANGER ※
(※チェンジャー接続時のみ)

- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量(0～35)を調整する。
- 3 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲(ファイル)を選ぶ。
 - 演奏中の曲の頭出し …「◀◀」を押す。
 - 早戻し ……………「◀◀」を押し続ける。
 - 次の曲の頭出し ……「▶▶」を押す。
 - 早送り ……………「▶▶」を押し続ける。

- 4 演奏を一時停止するときは、「▶/II」を押す。
再度「▶/II」を押すと、演奏が再開する。

- 5 ディスクを取り出すときは、「▲」を押す。
ディスクは必ず取り出す。



- MP3/WMAの演奏時に「TITLE Ⓢ」を押すと、ファイル名、フォルダ名、タグ情報などを表示させることができます。詳しくは、「タイトル/テキストを表示する」(24ページ)を参照してください。
- 本機はオーディオデータとMP3/WMAデータが混在するディスクでも再生が可能です。
- CDオーディオデータ再生時のトラック表示はディスクに記憶されているトラック番号になります。
- 作成したライティングソフト・MP3変換ソフトによっては再生できない場合があります。その際は他のソフトでお試しください。
- VBR(可変ビットレート) ファイルを再生中は、ファイル再生時間が正しく表示されない場合があります。

フォルダを選択する

- 1 「▲」または「▼」を押して、前後のフォルダを選ぶ。



- M.I.X. DISC再生中に「▲」を押すと、未再生のファイルをランダムに選び再生します。「▼」を押した場合は、再生中のファイルの頭から再生します。

フォルダ/ファイルサーチ

ディスク内のフォルダやファイルを検索し演奏させることができます。

本機ボタンから操作する

- 1 MP3/WMA演奏中に「□」(SEARCH/Q.S.)を押してサーチモードを選ぶ。
フォルダサーチモード ↔ ファイルサーチモード

フォルダサーチモード：
ディスク内の全てのフォルダから希望のフォルダを検索します。
ファイルサーチモード：
演奏中のフォルダまたはフォルダサーチで選んだフォルダからファイルを検索します。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、演奏させたいフォルダまたはファイルを選ぶ。
サーチモードを切りかえるには、「□」(SEARCH/Q.S.)を押す。
- 3 「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだフォルダの1曲目または選んだファイルが演奏される。

**Memo**

- サーチモード中に「」（SEARCH/Q.S.）を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- ファイルサーチモード中に「▲」または「▼」を押すと、前後のフォルダを選ぶことができます。
- M.I.X.演奏中にフォルダ/ファイルサーチはできません。
- フォルダサーチモードで選んだフォルダにファイルがない場合は「NO FILE」と2秒間表示します。フォルダ名のないルートフォルダは「ROOT」と表示されます。

- フォルダNo.、ファイルNo.表示について
フォルダNo.、ファイルNo.は次のように表示されます。



フォルダNo.表示 ファイルNo.表示

- ・ フォルダNo.、ファイルNo.が3桁になる場合は、“ F ” または “ T ” は表示されません。

リモコンから操作する

- 1 再生中に「SEARCH」を2秒以上押す。フォルダ名リストが表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してフォルダ名を選び、「ENT.」を押す。
選んだフォルダのファイル名リストが表示される。
- 3 「▲」または「▼」を押してフォルダ名を選び、「ENT.」を押す。
選んだファイルが表示される。

**Memo**

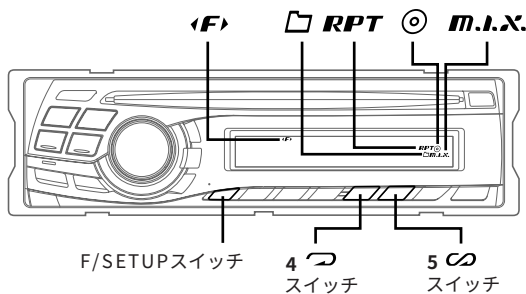
- リスト名が9以上ある場合は、画面にページ数を表示します。「◀」または「▶」を押してページ切りかえできます。
- フォルダサーチモード中に「RETURN」を押すとサーチモードを解除します。
- ファイルサーチモード中に「RETURN」を押すとフォルダサーチモードに切りかわります。
- フォルダサーチ/ファイルサーチモード中に「SEARCH」を2秒以上押すとリスト画面をOFFにします。

曲のイントロだけを聴く SCAN（スキャン）

曲のイントロ部分を聴いて、聴きたい曲を探すことができます。

- 1 「6 」を押す。
曲が約10秒間ずつ演奏される。

- 2 聴きたい曲が見つかったら再度「6 」を押す。
その曲の演奏を続ける。



曲順を変えて聴く M.I.X. (ミックス)

曲を順不同に演奏させることができます。

- 1 「5 (mix)」を押して、<M.I.X.インジケータ>を点灯させる。
順不同に曲を演奏する。

内蔵MP3/WMAモード時



MP3対応チェンジャーモード時



📁 M.I.X. : フォルダ内のみを対象に順不同に演奏する。

🕒 M.I.X. : ディスク内の曲を順不同に演奏する。チェンジャーモード時はディスク内の曲を順不同に全曲演奏し、次のディスクへと移動していく。

- 2 解除するには、再度「5 (mix)」を押す。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

気に入った曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

- 1 演奏中に「4 (repeat)」を押して、<RPTインジケータ>を点灯させる。
選んだ曲を繰り返し演奏する。



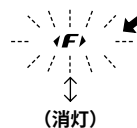
(※チェンジャーモード時)

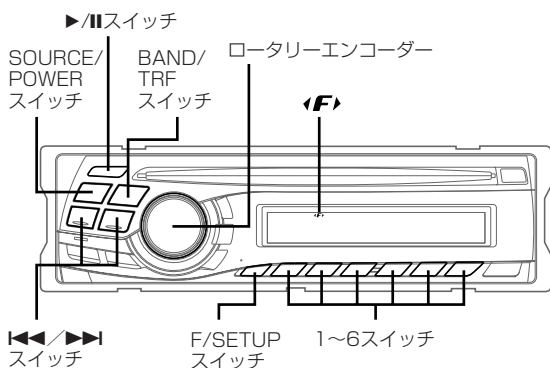
- RPT : 1曲のみを繰り返し演奏する。
RPT 📁 : フォルダ内の曲のみを対象に繰り返し演奏する。
RPT 🕒 : そのディスクを繰り返し演奏する。

- 2 解除するには、再度「4 (repeat)」を押す。

●チェンジャーモードのとき、曲のイントロだけを聴く／繰り返し聴く／曲順を変えて聴く
上記機能をお使いの場合は、次のように<Fインジケータ>を点灯させてから、10秒以内に各操作手順で行ってください。

- 1 「F/SETUP」を押す。





5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量（0～35）を調整する。

6 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



Memo

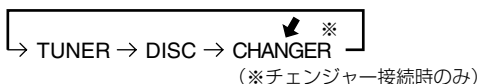
- 曲の早送り／早戻しをするには、「▶▶」または「◀◀」を押し続けます。
- MP3対応チェンジャーを接続した場合、内蔵MP3と同様に操作することができます。
- チェンジャーモードのとき、「曲のイントロだけを聴く／曲順を変えて聴く／繰り返し聴くなど」については、CD操作（16～17ページ）、MP3/WMA操作（18～20ページ）を参照してください。
- CD/チェンジャーモード時に「BAND/TRF」を押すと、ディスクモードが切りかわります。
- Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、チェンジャーなど2台の製品を接続している場合は、「BAND/TRF」を押して製品を選びます。

チェンジャー操作

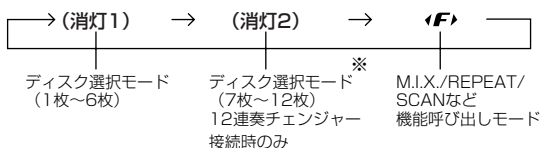
チェンジャーを接続すると、本機から操作できます。

チェンジャーでMD/CDを聴く

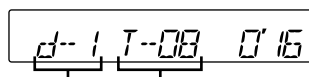
1 「SOURCE/POWER」を押して、CHANGERモードにする。



2 「F/SETUP」を押して、ディスク選択モードを選ぶ。



※ ディスク選択モード（7枚～12枚）のときは、ディスプレイ左側のディスクNo.表示部が「d」となります。
12連奏チェンジャー（CHA-1214/CHA-1204）は現在発売されていません。



ディスクNo. トラックNo.

ディスク選択モード（7枚～12枚）表示例

3 ディスクNo.を選ぶときは「1」～「6」のいずれかを押す。

ディスク選択モード（1枚～6枚）

：「1」～「6」はディスクNo.1～6に相当する。

ディスク選択モード（7枚～12枚）

：「1」～「6」はディスクNo.7～12に相当する。

4 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。

MP3再生データの設定

MP3対応CDチェンジャーを接続したときに設定してください。MP3対応CDチェンジャーでオーディオデータ（CD-DA）のみを再生するか、オーディオデータとMP3の両方とも再生するか（CD/MP3）を設定することができます。（オーディオデータとMP3データ混在ディスク使用時）

この設定をしたあとに、ディスクチェンジを行ってください。

1 「F/SETUP」を2秒以上押す。

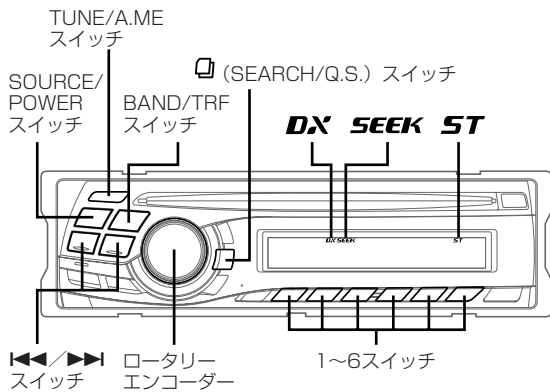
2 「◀◀」または「▶▶」を押して、CDDAモードを選ぶ。

3 「BAND/TRF」を押してDISC選曲範囲を設定する。

CDDA ↔ CDDA/MP3

（工場出荷時の設定）

4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。



ラジオ操作

ラジオを聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、TUNERモードにする。
TUNERモードにするとアンテナが伸びる。(パワーアンテナ装着車のみ)

→ TUNER → DISC → CHANGER ※
(※チェンジャー接続時のみ)

- 2 「BAND/TRF」を押して、バンドを選ぶ。

→ FM1 → FM2 → AM

- 3 「TUNE/A.ME」を押して、チューニングモードを選ぶ。

→ DX SEEK → SEEK → (消灯)
(ディスタンスモード) (ローカルモード) (マニュアルモード)



- 初期設定はディスタンスモードに設定されています。
 - ・ ディスタンスモードのとき
受信可能な放送局を自動的に受信します。(自動選局)
 - ・ ローカルモードのとき
電波の強い放送局だけを自動的に受信します。(自動選局)
 - ・ マニュアルモードのとき
1段階ずつ周波数が変わります。(手動選局)

- 4 「1<<」または「2>>1」を押して、聴きたい放送局(周波数)を探す。
押し続けると連続で周波数が切りかわる。

- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、音量(0~35)を調整する。

放送局を記憶する

- 1 「ラジオを聴く」を参照して、記憶させたい放送局に周波数を合わせる。
- 2 「1」~「6」のうち1つを2秒以上押す。
押されたNo.に、放送局が記憶される。



- 放送局は18局まで記憶できます。
FM1...6局、FM2...6局、AM...6局
- すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

自動的に放送局を記憶する

- 1 「BAND/TRF」を押して受信したいバンドを表示させる。

→ FM1 → FM2 → AM

- 2 「TUNE/A.ME」を2秒以上押す。
電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されて「1」~「6」に記憶される。記憶が終わると「1」に記憶されている放送局が受信される。



- 放送局を1つも受信できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

記憶した放送局を受信する

- 1 「BAND/TRF」を押してバンドを選ぶ。

→FM1→FM2→AM

- 2 「1」～「6」のうち1つを押す。

選択した放送局が受信される。



プリセットNo.表示
(「1」～「6」に記憶されている放送局を受信しているときに表示されます。)

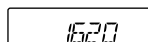
ディスプレイに<STインジケータ>が点灯しているときは、FMステレオ放送が受信されています。
(AMステレオ放送は常にモノラルで受信します。)



道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)

- 1 「BAND/TRF」を2秒以上押す。

TRFモードになり、AM放送の1620kHz、または1629kHzの交通情報を受信する。



- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、1620kHz/1629kHzを切りかえる。

- 3 解除するには、再度「BAND/TRF」を2秒以上押す。



- CD、チェンジャー、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。

放送局タイトルから探す

ラジオ放送局にタイトルがついているときは、タイトルから放送局を検索することができます。タイトル入力については、「タイトルをつける」(25ページ)を参照してください。

- 1 「Q」(SEARCH/Q.S.)を押す。

サーチモードになり、最初に記憶したタイトルが点滅表示される。

- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望のタイトルを選ぶ。

- 3 「ロータリーエンコーダー」を押す。

選んだタイトルの放送局が受信される。



- サーチモード中に「Q」(SEARCH/Q.S.)を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- タイトルサーチは、ラジオバンドに関係なくサーチします。タイトル入力順に表示されます。
- 放送局に1つもタイトルが入っていないときは「NO TITLE」と2秒間表示します。

放送局(周波数)から探す

放送局(周波数)から検索することができます。

- 1 「Q」(SEARCH/Q.S.)を2秒以上押す。

クイックサーチモードになる。

- 2 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、希望の放送局(周波数)を選ぶ。

- 3 「ロータリーエンコーダー」を押す。

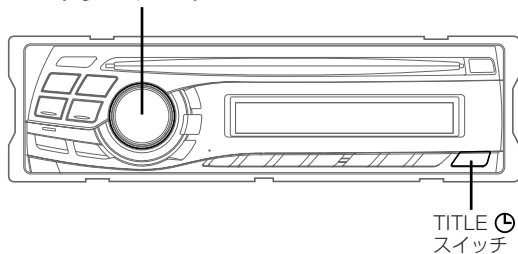
選んだ放送局が受信される。



- サーチモード中に「Q」(SEARCH/Q.S.)を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。

タイトル／テキスト

ロータリーエンコーダー



TITLE 
スイッチ

●スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールする「マニュアルモード」とスクロールを繰り返す「オートモード」を搭載しています。CDテキストとフォルダ名、ファイル名、タグ表示のみのスクロール表示します。

●「MANU（マニュアル）モード」のとき、再スクロールを行うには

1 CDテキストまたは、フォルダ名、ファイル名、タグ表示のとき、「TITLE 」を2秒以上押す。



タイトル／テキスト操作

タイトル／テキスト／スクロールとは

この説明書で使用する「タイトル」、「テキスト」、「スクロール」という言葉のちがいについて説明します。

●タイトルとは

文字の入力と表示ができることを言います。本機の場合は「CD」や「ラジオ放送局」の名称をタイトルとしてつけることができます。製品によっては文字を正確に表示できない場合もあります。（DVD、ビデオCD、MP3/WMAディスクのタイトル入力/表示は行えません。）

●テキストとは

あらかじめCDに入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

●タイトル／テキスト入力表示一覧

	オーディオデータ		MP3/WMA		ラジオ		DVD/ビデオCD	
	入力	表示	入力	表示	入力	表示	入力	表示
タイトル	○	○	×	×	○	○	×	×
テキスト	×	○	×	○	×	×	×	×
対応文字	英数、記号 (半角)						—	

- MP3/WMAディスクの場合は、フォルダ名／ファイル名／タグ情報の表示ができます。
- タイトルは8文字まで入力できます。
- 漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。

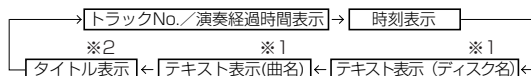
タイトル／テキストを表示する

「ラジオ放送局」や「CD」に本機からタイトルを入力していれば、タイトルを表示させることができます。また、CDテキスト対応の音楽CDの演奏中に、ディスク名／トラック名などを表示させることもできます。

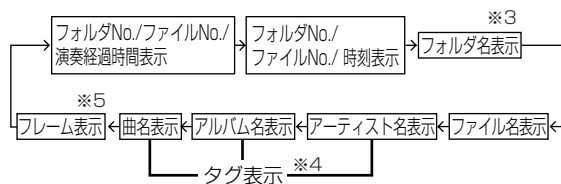
MP3/WMAファイルを演奏中は、フォルダ名、ファイル名、タグ情報の表示が可能です。

1 「TITLE 」を押す。

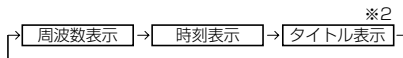
(CDモードのとき)



(MP3/WMAモードのとき)



(TUNERモードのとき)



- ※1 CDテキストは半角64文字まで表示可能。
CDテキスト対応チェンジャーの場合は半角64文字まで表示可能。
CDテキストが入っていない場合は **NO TEXT** と表示される。
- ※2 タイトルが入っていない場合は **NO TITLE** と表示される。
- ※3 フォルダ名のないルートフォルダは「ROOT」と表示される。
- ※4 MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示される（半角30文字（WMAは半角15文字）まで）。**その他の情報や表示可能な文字数を越えた情報は表示されない。**
タグ情報がない場合は **NO DATA** と表示される。
- ※5 MP3/WMAファイル作成時のサンプリングレートとビットレートを表示する。WMAのVBR（可変ビットレート）ファイルは、平均ビットレート表示になります。

●インジケータ表示について

タイトル／テキストなどの表示中は、各モードにおいて下記インジケータが点灯します。



バスレベル表示
BBE設定時は、BBEの設定によって表示が変わる。

インジケータ／モード	CDモード	MP3/WMAモード	TUNERモード
	タイトル表示中	—	—
	—	フォルダ名表示中	—
	—	ファイル名表示中	—
	—	アーティスト名※表示中	—
	テキスト（ディスク名）表示中	アルバム名※表示中	—
	テキスト（曲名）表示中	曲名表示中※	タイトル表示中

※タグ情報

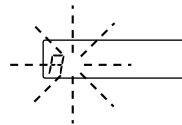


- DVD、ビデオCDではタイトル／テキストは表示できません。
- CDチェンジャーでテキスト表示するのは、CD-TEXT対応のCDチェンジャーのみです。
- 「タグ」「サンプリングレート」「ビットレート」「ルートフォルダ」については76ページの用語説明を参照してください。
- 表示可能な文字数を越えた情報は表示されません。
- 漢字／ひらがななど本機で表示できない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。
- テキスト・タグ情報によっては、正しく表示されないことがあります。

タイトルをつける

お好みの「ラジオ放送局」や「CD」、「CDチェンジャーのCD」にタイトルをつけることができます。
（DVD、ビデオCD、MP3/WMAディスクにタイトル入力はいえませんが。）

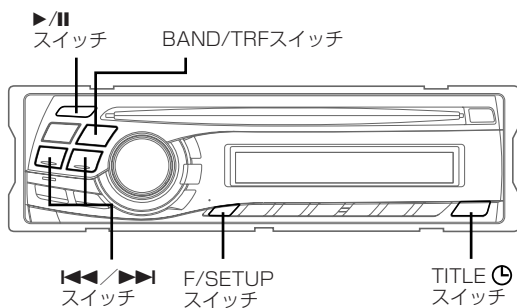
- 1 タイトルをつけたいCDまたはラジオ放送局を選ぶ。
- 2 「TITLE ⑨」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは「タイトル／テキストを表示する」（24ページ）を参照。
- 3 「TITLE ⑨」を2秒以上押す。
- 4 10秒以内に、「ロータリーエンコーダー」を回転させて、入力したい文字記号を選ぶ。
- 5 10秒以内に、「ロータリーエンコーダー」を押す。
ディスプレイの1桁目が確定し、2桁目が点滅する。



- 6 4～5を繰り返し8桁まで入力できる。
8桁未満のときは「TITLE ⑨」を押して、タイトル入力を終了させる。
- 7 タイトル表示モードを解除するには、「TITLE ⑨」を押す。



- ディスプレイに **FULL DATA** と表示されたときは、不要なタイトルを消してから、入力してください。
- タイトル名を消すには空白を選び、上記操作手順同様に入力します。
- 内蔵CDは最大CD18枚分までタイトルメモリーできます。
- ラジオ放送局には最大24局（FM/AM合わせ）まで、タイトルをメモリーできます。
- CDチェンジャーの場合は機種によってメモリー数が異なります。
- 記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと消去されます。
- 手順4～6の各操作は、10秒間操作を行わないと、入力モードが解除されます。
- 曲にタイトルをつけることはできません。
- 本機ではMP3/WMAファイルに、ファイル名、フォルダ名、タグ情報を入力することはできません。



スクロールの設定

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、SCROLLモードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、スクロールの設定を切りかえる。

SCROLL AUTO ↔ SCROLL MANU
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。



- スクロールするのは、CDテキスト／フォルダ名／ファイル名／タグ情報のみです。
- AUTOに設定すると、繰り返しスクロール表示を続けます。

スクロールタイプの設定

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してSCROLL TYPE1/TYPE2モードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、スクロールタイプの設定を切りかえる。

SCROLL TYPE1 ↔ SCROLL TYPE2
(工場出荷時の設定)

TYPE1：ディスプレイ右側から次々と文字が表示されてスクロールする。
TYPE2：ディスプレイ左側から1文字ずつ表示され、1画面分表示されたら左側から1文字ずつ消えるスクロール。

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。

記憶したタイトルを消す

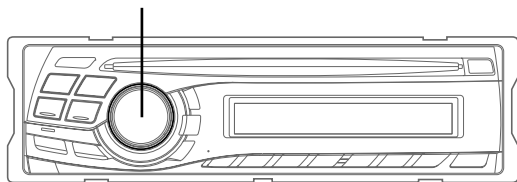
本機で入力、記憶したタイトルを消去することができます。

- 1 ラジオ/CD/CDチェンジャーモードのときに、「TITLE ㊟」を押して、タイトル表示モードを選ぶ。
詳しくは、「タイトル／テキストを表示する」(24ページ)を参照。
- 2 「TITLE ㊟」を2秒以上押す。
タイトルの1桁目が点滅する。
- 3 10秒以内に「▶/II」を2秒以上押す。
最初にメモリーされたタイトルが点滅する。
- 4 10秒以内に「◀◀」または「▶▶」を押して消去したいタイトル名を探す。
- 5 10秒以内に「▶/II」を2秒以上押す。
タイトルが消去される。
- 6 タイトル消去モードを解除するには、「TITLE ㊟」を押す。



- CDテキストを消去することは、できません。
- 手順3でタイトルが入っていない場合または手順5でタイトルを全て消去した場合は「NO DATA」と2秒間表示されます。

ロータリーエンコーダー



Memo

- BBEレベルは1→3の順に効果が大きくなります。
- ディフューズ（8ページ）がONのときは、操作を受け付けません。
- FMラジオ/CD（MP3/WMA含む）/DVDなどの各ソースごとに設定することができます。（AMラジオはBBEを設定できません。）
- 手順2の操作で、BBE OFFに設定すると全ての音楽ソースが「BBE OFF」となります。
- 外部オーディオプロセッサを接続した場合は、BBEの設定を行えません。

サウンド調整機能はプリアウト出力にも有効です。



サウンド調整

BBEモードの設定

BBE（Barcus Berry Electronics）は、FMラジオ/CD（MP3/WMA含む）/DVDなどソースごとにボーカルや各楽器の音を最適化し、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。

1 「ロータリーエンコーダー」を2秒以上押して、BBE設定モードを呼び出す。

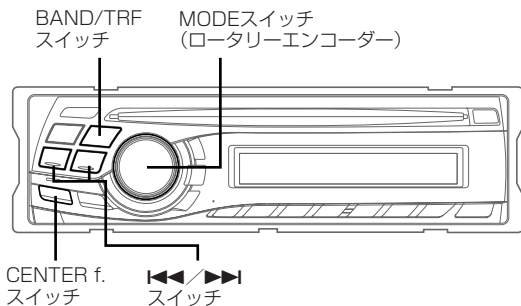
2 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を押して、BBE ONモードを選ぶ。


BBE ON ←→ **BBE OFF**
 (BBE1～3, EFFECT OFF)

3 15秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて好みのBBEレベル（1～3, EFFECT OFF）を選ぶ。

- ・ OFFを選ぶとBBEの効果がOFFになる。
- ・ 現在選んでいるソース（FMラジオ/CD/DVDなど）についてのレベルを調整できる。

4 設定が終了したら「ロータリーエンコーダー」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。



低音を強調する（バスセンター周波数）

低音で強調したい周波数を設定／調整することができます。

- 1 「CENTER f.」を押して、BASSコントロールモードを選ぶ。

→BASS コントロール → TREBLE コントロール → 通常モード

- 2 15秒以内に下記のそれぞれの設定／調整を行う。

バスセンター周波数の設定

設定した周波数の音域（低音）を強調する。
（各音楽ソース共通）

- 1) 「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。

→ 60Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 120Hz ←

バス帯域幅の設定

設定した周波数に対して帯域幅を変更することができる。
（各音楽ソース共通）

- 1) 「BAND/TRF」を押して、帯域幅を設定する。

→ 1 → 2 → 3 → 4 ←
（狭い） ←……………→ （広い）

バスレベルの調整

バスレベルを調整することで低音域を強めたり、弱めたりすることができる。
（各音楽ソースごとに調整が可能）

- 1) 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、好みのBass Level（-7～+10）を選ぶ。



- 15秒間、設定／調整の操作を行わずにいると自動的に通常のモードに戻ります。
- ディフューズの設定がONのときは、操作を受け付けません。
- バス機能を持たない外部オーディオプロセッサを接続した場合は、調整を行えません。バス機能を持つ外部オーディオプロセッサを接続した場合は、レベル調整のみ行えます。
- 通常モード中に「MODE」（ロータリーエンコーダー）を押してバスレベル調整のみ行えます。詳しくは8ページを参照してください。

高音を強調する（トレブルセンター周波数）

高音で強調したい周波数を設定／調整することができます。

- 1 「CENTER f.」を押して、TREBLEコントロールモードを選ぶ。

→BASS コントロール → TREBLE コントロール → 通常モード

- 2 15秒以内に下記のそれぞれの設定／調整を行う。

トレブルセンター周波数の設定

設定した周波数の音域（高音）を強調する。
（各音楽ソース共通）

- 1) 「◀◀」または「▶▶」を押して、周波数を選ぶ。

→ 7.5kHz ↔ 10.0kHz ↔ 12.5kHz ↔ 15.0kHz ←

トレブルレベルの調整

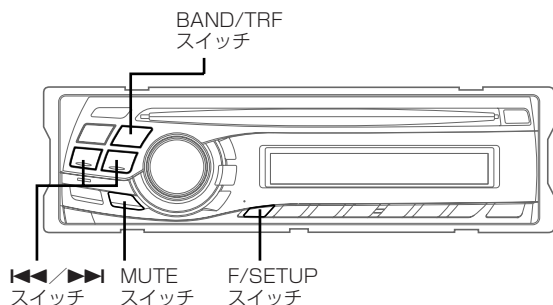
トレブルレベルを調整することで高音域を強めたり、弱めたりすることができる。

（各音楽ソースごとに調整が可能）

- 1) 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、好みのTreble Level（-7～+7）を選ぶ。



- 15秒間、設定／調整の操作を行わずにいると自動的に通常のモードに戻ります。
- ディフューズの設定がONのときは、操作を受け付けません。
- トレブル機能を持たない外部オーディオプロセッサを接続した場合は、調整を行えません。トレブル機能を持つ外部オーディオプロセッサを接続した場合は、レベル調整のみ行えます。
- 通常モード中に「MODE」（ロータリーエンコーダー）を押してトレブルレベル調整のみ行えます。詳しくは8ページを参照してください。



便利な機能

ミュートのON/OFF

- 1 「MUTE」を押す。
瞬時に音量が下がる。
- 2 解除するには、再度「MUTE」を押す。

壁紙を設定する

アルパインオーナー専用Webサイトからダウンロードしたファイル（1ファイル）を、CD-R/CD-RWディスクに書き込み、それを本機に挿入することで自動的にアップロードされます。保存した壁紙ファイルは、ディスク未挿入、ディスク映像未再生またはCD/MP3/WMAオーディオを再生中などに、TVモニターに表示することができます。

⚠ 注意 ● ディスクに複数ファイルを収納できる場合、本機に保存できるのは一番最初のファイルのみです。

- 1 データが入っているCD-R/CD-RWディスクを挿入する。
ディスクを認識後、本機に保存します。
- 2 壁紙を切りかえるには、停止中にリモコンの「ENT.」を2秒以上押す。

Memo

- 2ファイルまで本機に保存できます。3ファイル目をダウンロードした場合、上書きでメモリーされます。
- 壁紙を切りかえるには、ディスク未挿入、ディスクモードでPRE-STOPまたはSTOP中にリモコンの「ENT.」を2秒以上押します。
- バッテリー電源コードを外しても、ダウンロードしたデータは消去されません。

照光スイッチの色を切りかえる

「SOURCE/POWER」「BAND/TRF」「◀◀」「▶▶」の4つのスイッチの色を切りかえることができます。

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押してILLUMIモードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、色を切りかえる。

→ BLUE → GREEN → AMBER → RED →

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。



Memo

- 上記4つのスイッチの色にあわせて他のスイッチの色も変わります。ブルー/グリーンの際はグリーン、レッド/アンバーの際はレッドになります。
- ディスプレイの文字色を変えることはできません。

照光スイッチの明るさ調整

「AUTO」に設定すると、ヘッドライト点灯のとき、照光スイッチが減光します。夜間、照光スイッチが明るすぎる場合には「AUTO」にすることをお勧めします。

- 1 「F/SETUP」を押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、DIMMERモードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、DIMMERの設定を切りかえる。

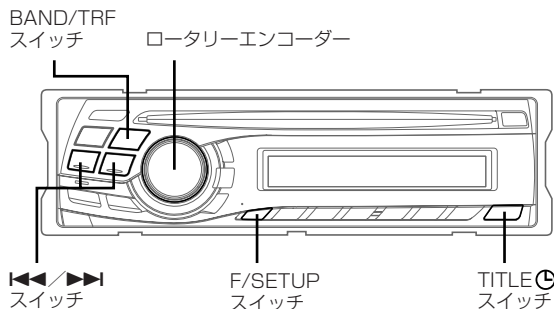
DIMMER AUTO ⇔ DIMMER MANU
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。



Memo

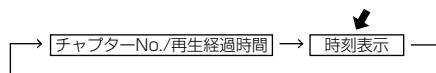
- 本機のイルミネーションコードを接続していない場合は、動作しません。
- 「MANU」に設定すると、ヘッドライトを点灯しても照光スイッチの明るさは変わりません。



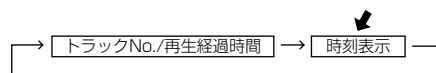
時刻を表示する

- 1 「TITLE ①」を繰り返し押して、時刻表示モードを選ぶ。

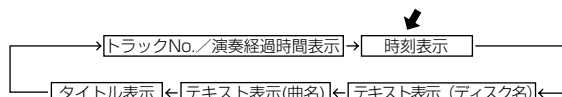
(DVDモードのとき)



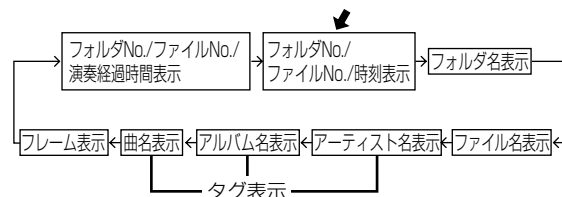
(ビデオCDモードのとき)



(CDモードのとき)



(MP3/WMAモードのとき)



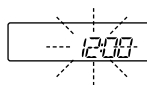
(TUNERモードのとき)



- 時刻を表示している状態で、ラジオ、CDなどを操作すると、行った操作を5秒間表示した後、時刻表示に戻ります。
- 電源がOFF状態でもイグニッションキーがONのとき、「TITLE ①」を押すと時刻を表示します。

時刻を設定する

- 1 「TITLE ①」を繰り返し押して、時刻表示モードにする。更に「TITLE ①」を2秒以上押す。時刻が点滅して、調整モードに入る。



- 2 5秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、「時間」を調整する。「時間」を合わせたら、「ロータリーエンコーダー」を押す。
- 3 5秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回転させて、「分」を調整する。「分」を合わせたら、「ロータリーエンコーダー」を押す。



- どのモード (CD、ラジオ、チェンジャーなど) でも時刻を設定することができます。
- 時報に合わせたいときは、「時」設定後に「ロータリーエンコーダー」を長く押すと分表示が00となります。「1:30」を超えた表示のときに「ロータリーエンコーダー」を長押しすると「時」は繰り上がります。

デモンストレーション機能

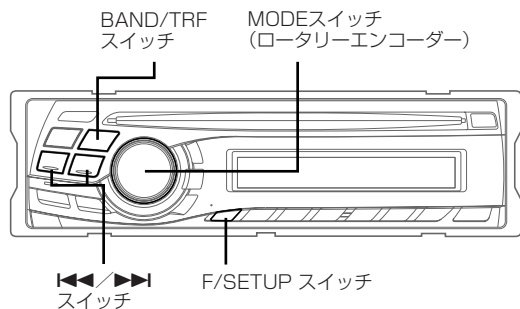
本機には、表示と音の演出のみの動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、DEMOモードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、DEMO ONにする。

DEMO ON ↔ DEMO OFF
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。デモンストレーションモードになり、音と表示の演出のみの動作を自動的に行う。

デモンストレーションをご使用になったら、必ず解除する。



サブウーハーシステムの設定

サブウーハーボリュームの設定を行うことができます。お好みのサブウーハー効果が得られる方を選んでください。

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「I<<<」または「>>>I」を押してSUBW SYS1/SYS2モードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、サブウーハーシステムの設定を切りかえる。

SUBW SYS1 ⇄ SUBW SYS2 (工場出荷時の設定)

SYS1：音量と連動してサブウーハー効果が得られる設定。

SYS2：音量が低くてもサブウーハー効果が得られる設定。

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。

拡張ユニット操作

サブウーハーを接続する

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「I<<<」または「>>>I」を押してSUBW ONまたはOFFモードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、SUBWをONにする。

↓
SUBW ON ⇄ SUBW OFF
(工場出荷時の設定)

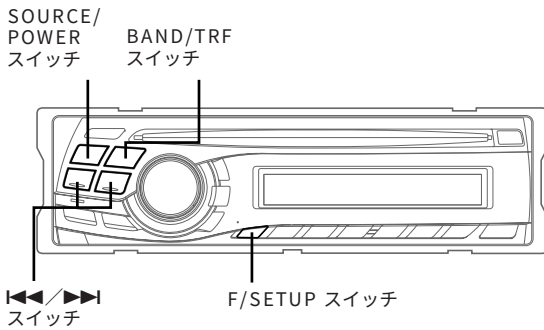
- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。
- 5 「MODE」(ロータリーエンコーダー)を押してSUBWモードを選ぶ。

→ BASS → TREBLE → SUBW → BALANCE → FADER
VOLUME ← DEFEAT ←

- 6 5秒以内に「MODE」(ロータリーエンコーダー)を回転させて、サブウーハー出力のレベル(0~+15)を調整する。



● モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、調整モードは解除されます。



外部アンプを接続する

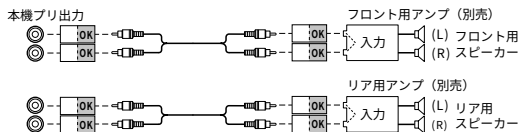
外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。次の手順で「POWER IC OFF」にしてください。

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「**◀◀**」または「**▶▶**」を押して、POWER ICモードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、POWER IC OFFにする。

POWER IC OFF ↔ POWER IC ON
(工場出荷時の設定)

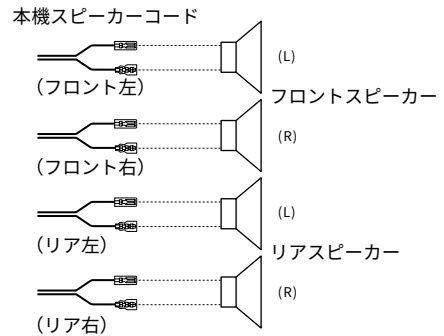
POWER IC OFF

本機のフロント/リアプリ出力と外部アンプをつないで、スピーカーを駆動するときに設定する。このとき、本機のスピーカーコードからは出力されない。



POWER IC ON

内蔵アンプでスピーカーを駆動するときに設定する。



● このシステムで「OFF」に設定するとスピーカーから音は出ません。

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。

外部入力の設定

別売のAi-RCA変換ケーブル (KCA-121B) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「**◀◀**」または「**▶▶**」を押してAUX INモードを選ぶ。

※1
→ ILLUMI ↔ DIMMER ↔ SUBW ↔ SUBW SYS
↔ CDDA / CDDA/MP3 ↔ SCROLL TYPE ↔ SCROLL
※2
↔ MUTE ↔ AUX IN ↔ AUX表示切りかえ ↔ POWER IC
↔ OPT OUT ↔ OTHER/H510 ↔ DEMO ←

※1 SUBW ONに設定したとき表示される。
※2 AUX IN ONに設定したとき表示される。

- 3 「BAND/TRF」を押して、ONにする。

AUX IN OFF ↔ AUX IN ON
(工場出荷時の設定)



● AUX INをONにした後に「**◀◀**」または「**▶▶**」で、(AUX表示切りかえ)を選び「BAND/TRF」を押してAUXモード時の「表示」を設定することができます。
例えば、テレビの時は「TV」、ゲームの時は「GAME」など本機側の表示を設定することができます。

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。
- 5 「SOURCE/POWER」を押して、AUX (外部入力) モードを選び、音量などを調整する。

外部入力の設定 (Versatile Link Terminal (KCA-410C) 接続時)

別売のVersatile Link Terminal (KCA-410C) と組み合わせるとRCA音声出力を持つテレビやビデオを2台まで本機に入力させることができます。

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「I◀◀」または「▶▶I」を押してAUX INモードを選ぶ。

※1
→ ILLUMI ↔ DIMMER ↔ SUBW ↔ SUBW SYS
↔ CDDA / CDDA/MP3 ↔ SCROLL TYPE ↔ SCROLL
※2
↔ MUTE ↔ AUX IN ↔ AUX表示切りかえ ↔ POWER IC
↔ OPT OUT ↔ OTHER/H510 ↔ DEMO ←

※1 SUBW ONに設定したとき表示される。
※2 AUX IN ONに設定したとき表示される。

- 3 「BAND/TRF」を押して、ONにする。

AUX IN OFF ↔ AUX IN ON
(工場出荷時の設定)



● AUX INをONにした後に「I◀◀」または「▶▶I」で、(AUX1またはAUX2表示切りかえ)を選び「BAND/TRF」を押してAUX1、2モード時の「表示」を設定することができます。

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。
- 5 「SOURCE/POWER」を押して、AUX (外部入力) モードを選ぶ。

※3
→ TUNER → CD → CHANGER → AUX ←

(※3 チェンジャー接続時のみ)

- 6 「BAND/TRF」を押して、接続された製品を選ぶ。

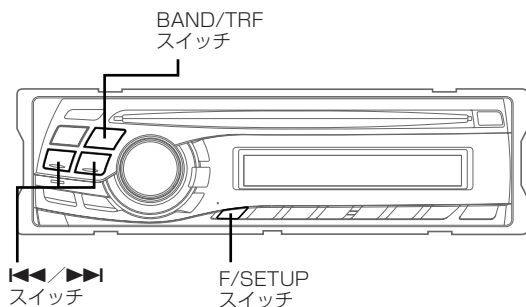
外部割り込みモードの設定

別売のAi割り込みBOX (NVE-K200) /Versatile Link Terminal (KCA-410C) /Ai-RCA変換ケーブル (KCA-121B) などと組み合わせると、音楽CD再生対応ナビゲーションでのCD音声やテレビの音声を本機に割り込ませることができます。組み合わせる製品によっては、利用できない場合があります。詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「I◀◀」または「▶▶I」を押してMUTEモードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、MUTE OFFにする。

MUTE ON ↔ MUTE OFF
(工場出荷時の設定)

- 4 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
通常モードに戻る。



Memo

● 設定終了後、一度ACCをOFFにしてから再度ONにしてください。光デジタル出力切りかえの設定が確定されます。

光デジタル対応オーディオプロセッサーを接続する

光デジタル対応オーディオプロセッサー（PXA-H510、PKG-H701Sなど）を接続した場合に、デジタル出力およびデジタルプロセッサーの種類を設定します。

- 1 「F/SETUP」を2秒以上押す。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、OPT OUTモードを選ぶ。
- 3 「BAND/TRF」を押して、OPT OUTをONにする。

▼
OPT OUT ON ↔ OPT OUT OFF
 （工場出荷時の設定）

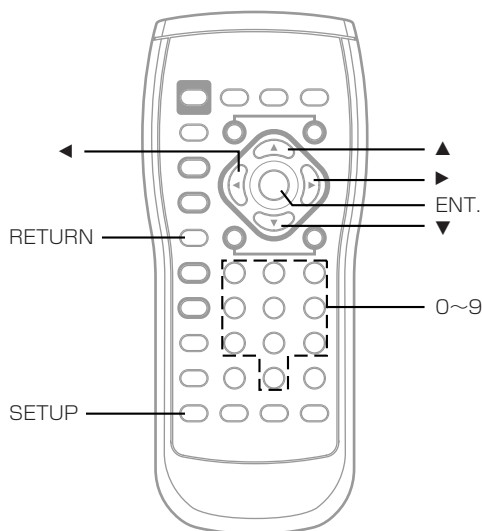
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、OTHER/H510モードを選ぶ。
- 5 「BAND/TRF」を押して、外部オーディオプロセッサーの入力切りかえを設定する。

H510 ↔ OTHER
 （工場出荷時の設定）

H510 : PXA-H510と接続した場合に設定する。
 PXA-H510の光デジタル入力端子は、DVD用へ接続する。

OTHER : PXA-H510以外の光デジタル対応オーディオプロセッサーと接続した場合に設定する。オーディオプロセッサー側の光デジタル入力端子は、ヘッドユニット用へ接続する。

- 6 設定が終了したら「F/SETUP」を押す。
 通常モードに戻る。



DVDの初期設定 (SETUP)



- DVDの初期設定はリモコンでのみの操作となります。
- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。車のバッテリー電源をはずした場合、設定内容は消去され工場出荷時の設定内容に戻ります。

言語設定を変更する

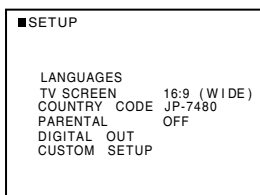
音声言語、字幕言語、メニュー言語をお好みに合わせ設定することができます。

設定された言語は固定され、常時日本語で聴きたい場合に便利です（ディスクによっては、設定した言語がない場合があります。その場合は、そのディスクの優先言語になります）。



- 一時的に今観ているディスクの言語をかえたい場合は、DVDメニューからかえるか、または「音声言語切りかえ」（13ページ）でかえることができます。
- ディスクが入っている状態で設定を変更した場合は、下記のいずれかを行うと設定が確定されます。
 - ・ 電源をOFFにする
 - ・ ソースを切りかえる

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してLANGUAGESを選び、「ENT.」を押す。
言語設定画面が表示される。

- 3 「▲」または「▼」を押して設定項目を選び、「ENT.」を押す。

AUDIO

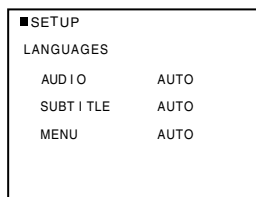
スピーカーから出力される音声言語が設定できる。

SUBTITLE

画面に表示される字幕言語が設定できる。

MENU

タイトルメニューなどのメニュー言語が設定できる。



- 4 「▲」「▼」または「◀」「▶」を押して設定したい言語を選び、「ENT.」を押す。

音声言語、字幕言語、メニュー言語の設定言語

AUTO※1 / ENGLISH / JAPANESE / GERMAN / SPANISH / FRENCH / ITALIAN / PORTUGUESE / RUSSIAN / CHINESE / OTHER※2

※1 AUTO

AUTO : ディスクに記録されている最優先の音声言語または字幕言語で再生される。

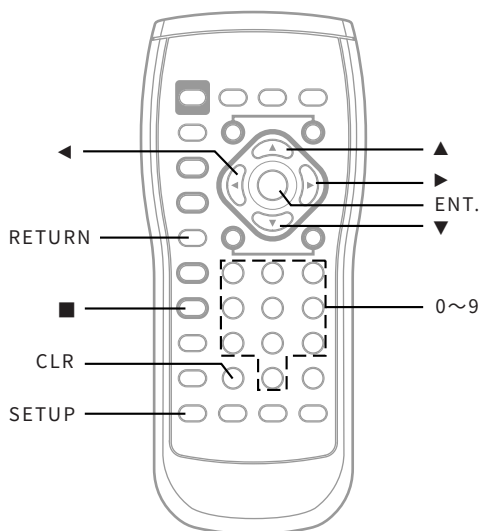
※2 OTHER

OTHER : 表示されている以外の言語で再生したいときに設定する。「ENT.」を押してから「0」～「9」キーで4桁の言語番号を入力し、「ENT.」を押す。言語番号は「言語コード表」（74ページ）を参照。



- 選んだ言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。
- 各言語の工場出荷時の設定。
 - 音声言語 : AUTO
 - 字幕言語 : AUTO
 - メニュー言語 : AUTO
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。



TVスクリーン設定を変更する

お使いのTVモニターに合わせて、画面の比率（アスペクト比）を設定します。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してTV SCREENを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してスクリーンタイプを選び、「ENT.」を押す。
16:9 (WIDE) / 4:3 (LB) / 4:3 (PS)

16:9 WIDE

ワイドテレビに接続したときに選ぶ。工場出荷時は16:9。



4:3 LB (LETTER BOX)

従来サイズの4:3のモニターに接続した時に選ぶ。アスペクト比16:9の映像を再生した場合は、上下に黒帯が入る。



4:3 PS (PAN-SCAN)

従来サイズの4:3のモニターに接続した時に選ぶ。画面全体に表示する。（アスペクト比16:9の映像を再生した場合は、左右が切れる）



Memo

- ディスクによっては設定した画面サイズにならない場合があります（詳しくはディスクのジャケットに記載されている内容をご覧ください）。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 4 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

カントリーコード設定を変更する

視聴規制（パレンタルロック）を設定する時の、設定したい規制レベルの国番号を設定します。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してCOUNTRY CODEを選び、「ENT.」を押す。
カントリーコードがリセットされる。

COUNTRY CODE - - - -

- 3 「0」～「9」を押して4桁の数字を入力し、「ENT.」を押す。
日本の国番号は7480（工場出荷時の設定）。
アメリカの国番号は8583。

COUNTRY CODE 7 4 8 0



- 入力したコードが間違っている場合は、「CODE ERROR」を3秒間表示したあと、カントリーコード入力画面に戻ります。
- 「CLR」を押すたびに、1桁ずつ消去できます。また2秒以上押すと全て消去できます。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 4 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

視聴規制（パレンタルロック）を設定する

お子様などに見せたくない映像を規制することができます。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してPARENTALを選び、「ENT.」を押す。
パスワード入力モードになる。
- 3 「0」～「9」を押して4桁のパスワードを入力し、「ENT.」を押す。

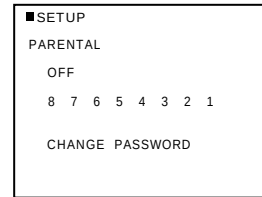
PASS WORD * * * *

入力された数字は*で表示される。
工場出荷時は1111。
規制レベル（PARENTAL LEVEL）入力画面を表示する。



- 「CLR」を押すたびに、1桁ずつ消去できます。また2秒以上押すと全て消去できます。
- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。
- パスワードが間違っている場合は、「PASSWORD ERROR」を3秒間表示したあと、パスワード入力画面に戻ります。

- 4 「▲」「▼」「◀」または「▶」を押して規制レベル値（1～8）を選び、「ENT.」を押す。
規制を解除したいときや、設定しないときはOFFを選ぶ。規制レベルは数字が小さいほうが高くなる。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

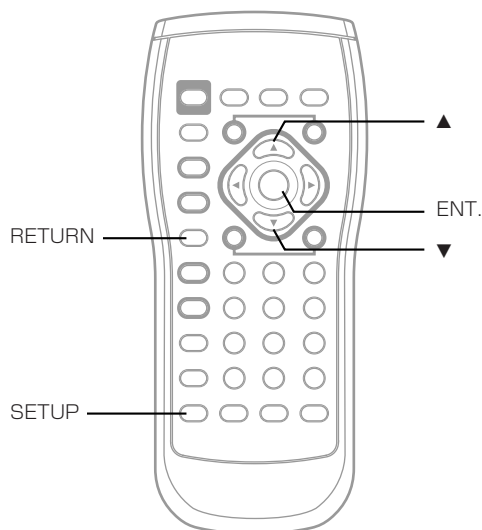
- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。



- パスワードを変更したい時は、CHANGE PASSWORDを選び新しいパスワード（数字4桁）を入力します。
注）パスワードは忘れないように、メモなどをして保管してください。
- 視聴制限がないDVDでは視聴規制を設定しても再生は制限できません。
- 視聴制限に対応したDVDソフトを視聴制限して再生したい場合には、実際に規制レベルや国番号を変更してお確かめください。
- 設定した視聴規制は保持されます。違うディスクを再生したい時や視聴規制を解除したい場合は、設定を変更してください。

- テンポラリー・パレンタルレベル変更について
ディスクによっては、再生中に初期設定で設定した視聴規制レベル（パレンタルレベル）の変更を要求する場合があります。このとき、モニター画面に“PARENTAL LEVEL CHANGE OK?”と表示します。
この表示が出た場合は、下記の操作で設定してください。
- 変更したパレンタルレベルで再生する場合は、「ENT.」を押す。
パスワード入力モードになる。
「視聴規制（パレンタルロック）を設定する」で設定している4桁のパスワードを入力し、「ENT.」を押す
- パレンタルレベルを変更しないで再生する場合は、「■」を押す（「■」を押した場合は、「視聴規制（パレンタルロック）を設定する」で設定したパレンタルレベルで再生されます）。





デジタル出力設定を変更する

本機からの音声を設定します。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してDIGITAL OUTを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押して出力モードを選び、「ENT.」を押す。

● 音声出力／光デジタル音声出力について

ディスク	音声記録方式		デジタル出力設定	光デジタル音声出力 (デジタルオーディオプロセッサ接続時)	アナログ音声出力 (Ai-NET、RCA出力)
DVD	DTS		AUTO	DTSエレメンタリ ストリーム	○
			LPCM	LPCMエンコード2chダウンミクス (44.1kHzまたは48kHz/16bit)	○
	ドルビーデジタル		AUTO	ドルビーデジタル	○
			LPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
	リニアPCM	48kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		48kHz/20bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		48kHz/24bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/20bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
		96kHz/24bit	AUTOまたはLPCM	LPCM (48kHz/16bit)	○
	MPEG2		AUTOまたはLPCM	LPCM (44.1kHzまたは48kHz/16bit)	○
ビデオCD	MPEG1		AUTOまたはLPCM	LPCM (44.1kHz)	○
	リニアPCM		AUTOまたはLPCM	LPCM (44.1kHz)	○
CD	DTS		AUTO	DTSエレメンタリ ストリーム	○
			LPCM	LPCMエンコード2chダウンミクス (44.1kHz/16bit)	○
MP3	MPEG-1 Audio Layer3 ビットレート: 32kbps~ 320kbps	32kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (32kHz/16bit)	○
		44.1kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (44.1kHz/16bit)	○
		48kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (48kHz/16bit)	○
WMA	Windows Media™ Audio ビットレート: 32kbps~ 320kbps	32kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (32kHz/16bit)	○
		44.1kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (44.1kHz/16bit)	○
		48kHz/16bit	AUTOまたはLPCM	LPCMエンコード2ch (48kHz/16bit)	○

DOLBY D

ドルビーデジタル出力の設定ができる。
工場出荷時はBITSTREAM。

DTS

DTS出力の設定ができる。
工場出荷時はBITSTREAM。

MPEG

MPEGオーディオ出力の設定ができる。MPEGオーディオ出力は、設定に関係なく48kHz/16bit (DVD) または44.1kHz (Video CD、CD) のリニアPCM音声に変換して出力する。
工場出荷時はLPCM。



●「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 4 「▲」または「▼」を押して「BITSTREAM」または「LPCM」を選び、「ENT.」を押す。

BITSTREAM

再生中の音声の記録方式に従いデジタル出力を自動で切りかえる。デジタルオーディオプロセッサと接続し、ドルビーデジタル音声で再生したい時は、必ず、BITSTREAMにする。

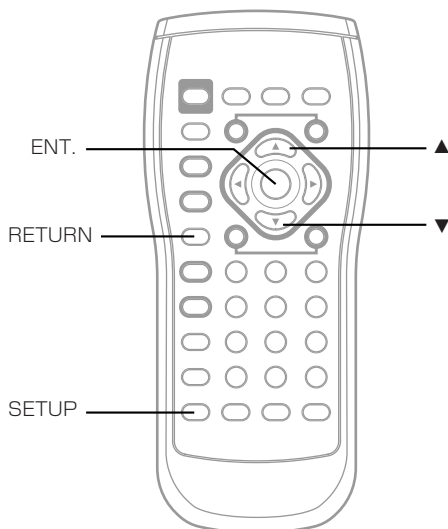
LPCM

ディスクに記録されている音声を48kHz/16bit (DVD) または44.1kHz (ビデオCD、CD) のリニアPCM音声に変換して出力する。



●「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。



カスタム設定 (CUSTOM SETUP)

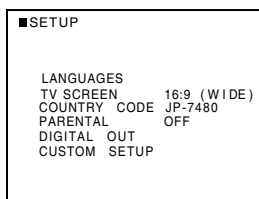


- カスタム設定は、リモコンでのみの操作になります。
- 変更された設定内容は書き換えられます。変更する前に現在の設定内容をメモして保管してください。車のバッテリー電源をはずした場合、設定内容は消去され工場出荷時の設定内容に戻ります。

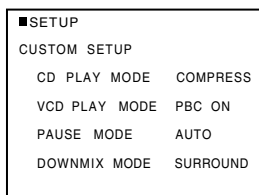
CD再生モードを設定する

ディスク内にMP3ファイルとオーディオデータが混在している場合に、どちらを再生するか設定できます（オーディオデータとMP3データ混在ディスク使用時のみ）。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。



- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してCD PLAY MODEを選び、「ENT.」を押す。



- 4 「▲」または「▼」を押してCD-DAあるいはCOMPRESSED AUDIOを選び、「ENT.」を押す。

CD-DA

CDデータのみを再生する。
工場出荷時はCD-DA。

COMPRESSED AUDIO

MP3データのみを再生する。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

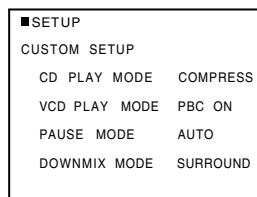


- ディスクがすでに挿入されているときは、ディスクを取り出してから設定してください。

ビデオCD再生モードを設定する

プレイバックコントロール（PBC）付きのビデオCDを再生する場合に、PBCをONにするかOFFにするかをあらかじめ設定できます。

- 1 ディスク挿入前に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してVCD PLAY MODEを選び、「ENT.」を押す。



- 4 「▲」または「▼」を押してPBC ONあるいはPBC OFFを選び、「ENT.」を押す。

PBC ON

ビデオCDに収録されているメニューを表示し、メニューの操作ができる。
工場出荷時はPBC ON。

PBC OFF

ビデオCDに収録されているメニューは表示できない。



- 「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

一時停止時の映像出力を設定する

DVDまたはビデオCDを再生中に一時停止したときの映像出力方法を設定できます。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してPAUSE MODEを選び、「ENT.」を押す。

■SETUP	
CUSTOM SETUP	
CD PLAY MODE	COMPRESS
VCD PLAY MODE	PBC ON
PAUSE MODE	AUTO
DOWNMIX MODE	SURROUND

- 4 「▲」または「▼」を押してAUTO、FIELDあるいはFRAMEを選び、「ENT.」を押す。
通常は、AUTO設定でお使いください。どうしてもポーズ中に画面がぶれるような場合は、FIELDまたはFRAMEに設定してください。
工場出荷時はAUTO。



●「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

ダウンミックスを設定する

本機能は、ドルビーデジタル、DTSストリーム音声に有効です。

- 1 ディスク挿入前または停止中に「SETUP」を押す。
初期設定メニューがモニター画面に表示される。
- 2 「▲」または「▼」を押してCUSTOM SETUPを選び、「ENT.」を押す。
- 3 「▲」または「▼」を押してDOWNMIX MODEを選び、「ENT.」を押す。

■SETUP	
CUSTOM SETUP	
CD PLAY MODE	COMPRESS
VCD PLAY MODE	PBC ON
PAUSE MODE	AUTO
DOWNMIX MODE	SURROUND

- 4 「▲」または「▼」を押してSTEREOあるいはSURROUND ENCODEDを選び、「ENT.」を押す。

STEREO

ステレオダウンミックス

SURROUND ENCODED

サラウンド互換ダウンミックス

工場出荷時はSURROUND ENCODED。



●「RETURN」を押すと1つ前の画面に戻ります。

- 5 設定モードが終了するまで、繰り返し「RETURN」を押す。

外部オーディオプロセッサーの操作（オプション）

外部オーディオプロセッサーと接続している場合は、本機から操作することができます。但し、接続するオーディオプロセッサーによって、操作できない場合もあります。ここでは、PXA-H700 または PXA-H701 と接続した場合を例に説明します。接続しているオーディオプロセッサー側の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- PXA-H510 または PXA-H900 と接続している場合は、一部の操作が本機からできません。その場合は、PXA-H510 または PXA-H900 側で操作を行ってください。
- M R A - D 5 5 0 と接続している場合は、SPEAKER SELECT、Bass Sound コントロール、グラフィックEQの設定はありません。また、設定値については、PXA-H700 または PXA-H701 とは異なります。
- 設定の調整は、車を停止させてから行ってください。
- 接続しているオーディオプロセッサー側で調整/設定を行っているときは、本機から正しく操作することはできません。



ドルビーサラウンドの調整手順

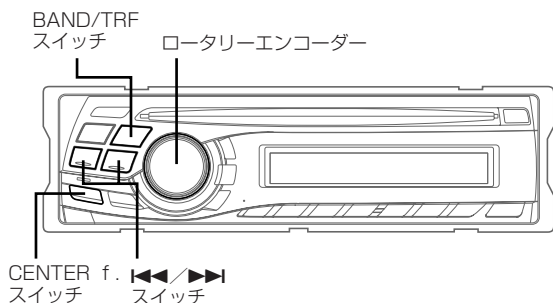
ドルビーデジタルやDTSサウンドをより正確に再現するには下記調整を行ってください。

<調整手順>

- 1 スピーカーセッアップ (P48)**
使用するスピーカーの有無または、特性を設定します。
- 2 スピーカーレベルを調整する (P48)**
各スピーカーへの信号出力レベルを調整します。
- 3 リアに低域音声をミキシングする (P49)**
リアスピーカーにフロントの音声信号をミキシングすることで後部座席でも聴きやすくさせることができます。
- 4 音像を調整する (P49)**
センタースピーカーが真正面にあるように音像を調整します。
- 5 迫力のある大音量再生を楽しむには (P50)**
必要に応じて、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」を楽しむことができます。
- 6 DVDレベルを調整する (P50)**
ドルビーデジタル/PRO LOGIC II/DTS/PCMそれぞれのモードでの音量信号レベルを調整します。
- 7 設定した内容を記憶する (P52)**
上記の内容に限らず本機で設定/調整した内容を全て記憶させることができます。

- 自動調整などと組み合わせて使用する場合は、ドルビーサラウンドの調整前に行うことをお勧めします。

オーディオプロセッサー



スピーカーの設定をする

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押し、SP SELECTモードを選ぶ。
- 4 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、各スピーカーを選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、スピーカーの種類またはON/OFFを設定し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
FRONT1 : OFF/TW(Tweeter)/FULL(Full Range)
FRONT2 : OFF/ON
REAR : OFF/ON
CENTER : OFF/ON
SUBWOOFER : OFF/MONO/STEREO
- 6 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



- 接続していないスピーカーはOFFに設定する。
- 「スピーカーセットアップ」(48ページ)で設定したスピーカーがOFFの状態でも上記設定はできます。
- PXA-H700またはPXA-H701接続時、サブウーハーをMONOで使用する時には、PXA-H700またはPXA-H701側のサブウーハー出力端子へサブウーハーを接続してください。

外部オーディオプロセッサーのMXモードを設定する

PXA-H700接続時は、PXA-H700側のMX(Media Xpander)モードの設定を「AUTO」にしてから下記操作を行ってください。

- 1 ディフューザーがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押し、MXモードを選ぶ。
- 4 「<<<」または「>>>」を押して、MXのON/OFFを選ぶ。
OFF : すべての音楽ソースのMX効果がOFFになる。
ON : 設定したMXモードをONにする。
- 5 ON設定後、「ロータリーエンコーダー」を回転させて、お好みのMXレベルを選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
MX CD EFFECT (OFF, CD MX1 ~ 3)
情報量豊富なCD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。
MX COMPRESS MEDIA (OFF, CMPM MX1 ~ 3)
圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。
MX FM (OFF, FM MX1 ~ 3)
こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。
MX DVD
(OFF, MOVIE MX1 ~ 2)
映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。
(DVD MUSIC)
ミュージッククリップなどの情報量豊富なディスク。その情報量を活かし、メリハリのある音を再生する。
MX AUX1 ~ 3 (OFF, CMPM MX, MOVIE MX, MUSIC MX)
接続するメディアに対応したMXモード (CMPM, MUSIC, MOVIE) が選べる。
- 6 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



- OFFに設定すると各MXモードのMX効果がOFFになります。
- ラジオ/CD/MP3などの各音楽ソースごとに設定することができます。
- MP3/WMA、MMDモード時は「MX COMPRESS MEDIA」に割り当てられます。

X-OVERの設定

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、X-OVERモードを選ぶ。
- 4 「BAND/TRF」を2秒以上押して、L + RまたはL / Rを選ぶ。
L + R：チャンネルL/Rで同じ調整値に設定できる。
L / R：チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。
- 5 「◀◀」または「▶▶」を押して、希望のチャンネルを選ぶ。
L + R選択時

FRONT 1 → FRONT 2 → REAR → CENTER
 SUBWOOFER ←

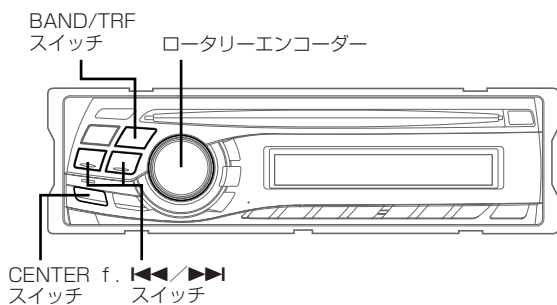
 L / R選択時

FRONT 1L → FRONT 1R → FRONT 2L → FRONT 2R
 SUBWOOFER ← CENTER ← REAR R ← REAR L ←

 - 接続スピーカーによって表示されるスピーカーは異なります。
- 6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、H.P.F.のカットオフ周波数（HP FREQ）を調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
調整できる帯域は、チャンネル（スピーカー）によって異なる。
- 7 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、H.P.F.のスロープ（HP SLOPE）を調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
- 8 次にL.P.F.の調整を手順6、7の操作で行う。
- 9 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベル（LEVEL）を調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
「ロータリーエンコーダー」を押すと、手順6に戻る。
- 10 さらに別のチャンネルを調整するには、手順5～9を繰り返す。
- 11 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのX-OVERは設定できません。「スピーカーの設定をする」（42ページ）を参照してください。
- 調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。
- スピーカーを保護するためサブウーハーL.P.F.でのフィルターOFF（スロープOFF）設定はありません。
- FRONT 1でTweeterを選択している場合は、H.P.F.でのフィルターOFF（スロープOFF）設定はできません。また、サブウーハーがSTEREOに選択している場合は、サブウーハーの調整内容になります。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は52ページを参照してください。



時間補正を行う (TCR) / 位相切りかえ

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。自分で補正値を算出してリスニングポジションでの時間差を取り除く時にこの機能を使います。

【時間補正の算出】

- 1 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。
- 2 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。
 $L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$
- 3 スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s 気温20℃）で割る。その値が各スピーカーの時間補正値となる。

・ 計算式

$$\frac{(\text{一番遠いスピーカーの距離} - \text{算出したいスピーカーの距離}) \times 1000}{343}$$

= 時間補正値（この数値を手動で入力してください。）

● 具体例

下記イラストのフロント右側スピーカーの時間補正値を算出する。

（条件）：

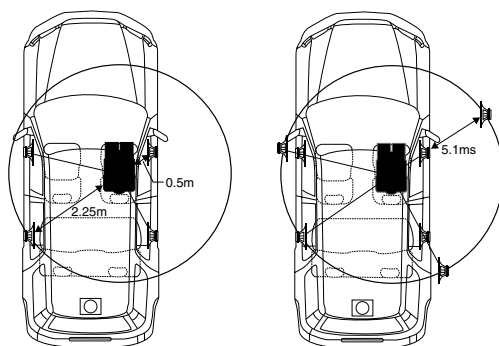
一番遠いスピーカー～リスニングポジション：2.25m

フロント右側スピーカー～リスニングポジション：0.5m

（算出）： $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000 = 5.1 \text{ (ms)}$

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正値に 5.1 (ms) 与えることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。

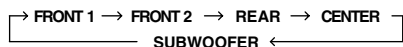
時間補正により到達時間差が解消される。右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

【時間補正の入力】

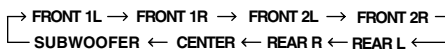
- 4 ディフティットがOFFであることを確認する。
- 5 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 6 「CENTER f.」を繰り返し押して、TCR/PHASEモードを選ぶ。
- 7 「BAND/TRF」を2秒以上押して、L + RまたはL / Rを選ぶ。
 L + R：チャンネルL/Rで同じ調整値に設定できる。
 L / R：チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。

- 8 「◀◀」または「▶▶」を押して、希望のチャンネルを選ぶ。

L + R選択時



L / R選択時



- 接続スピーカーによって表示されるスピーカーは異なります。

- 9 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、算出した時間補正值 (0.00~20.00ms) を調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。

【位相の切りかえ】

- 10 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、位相 (PHASE) を切りかえ、「ロータリーエンコーダー」を押す。

0° ↔ 180°

- 11 さらに別のチャンネルを調整するには、手順 8 ~ 10 を繰り返す。

- 12 設定が終了したら「CENTER f.」を 2 秒以上押す。

通常モードに戻る。

続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのTCRは設定できません。「スピーカーの設定をする」(42ページ)を参照してください。
- タイムコレクション (時間補正) でのFRONT 2スピーカーの調整値は、「Bass Focusの設定」(47ページ)のFRONTスピーカーにも反映されます。
- 自動調整 (AUTO TCR) は本機では操作できません。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は52ページを参照してください。

グラフィックEQの調整

フロント (L/R) / リア (L/R) / センター独立で31 バンド、サブウーハーは10 バンドのレベル調整を行えますので、思い通りの音場を再現することができます。

- 1 デフォルトがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を 2 秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、G-EQモードを選ぶ。

- 4 「BAND/TRF」を 2 秒以上押して、L + RまたはL / Rを選ぶ。

L + R : チャンネルL/Rで同じ調整値に設定できる。

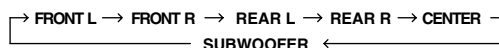
L / R : チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。

- 5 「◀◀」または「▶▶」を押して、希望のチャンネルを選ぶ。

L + R選択時



L / R選択時



- 接続スピーカーによって表示されるスピーカーは異なります。

- 6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、周波数を選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。

調整可能周波数

FRONT/REAR/CENTER : 20Hz~20kHz (1/3オクターブ間隔)

SUBWOOFER : 20Hz~160Hz (1/3オクターブ間隔)

- 7 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベル (±9dB 1dBステップ) を調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。

- 8 さらに別のチャンネルを調整するには、手順 5 ~ 7 を繰り返す。

- 9 設定が終了したら「CENTER f.」を 2 秒以上押す。

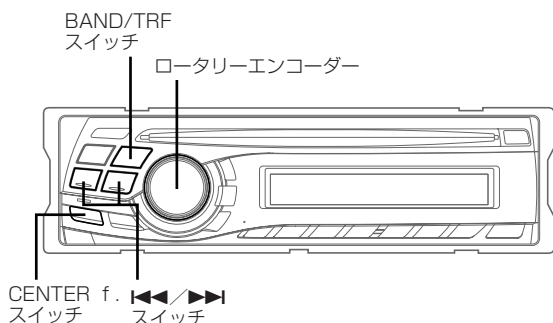
通常モードに戻る。

続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



- スピーカーがOFFモードの時は、そのスピーカーのグラフィックEQは設定できません。「スピーカーの設定をする」(42ページ)を参照してください。
- イコライザーの調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。スピーカーの再生周波数が「55Hz~30kHz」の場合、40Hzや20Hzのレベル調整を行っても効果がない場合もあります。
- グラフィックE Q の調整を行うと、パラメトリックEQでの調整は無効になります。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は52ページを参照してください。

オーディオプロセッサー



パラメトリックEQの調整

グラフィックEQでは隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリックEQは、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルがそれぞれ任意に調整可能ですので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うにはこのパラメトリックEQが有効です。

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、P-EQモードを選ぶ。
- 4 「BAND/TRF」を2秒以上押して、L + RまたはL / Rを選ぶ。
L + R：チャンネルL/Rで同じ調整値に設定できる。
L / R：チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。
- 5 「◀◀」または「▶▶」を押して、希望のチャンネルを選ぶ。
L + R選択時
→ FRONT → REAR → CENTER → SUBWOOFER
L / R選択時
→ FRONT L → FRONT R → REAR L → REAR R → CENTER
SUBWOOFER ←
● 接続スピーカーによって表示されるスピーカーは異なります。

- 6 「BAND/TRF」を押して、バンドを選ぶ。

調整可バンド数

FRONT/REAR/CENTER：5バンド
SUBWOOFER：2バンド

- 7 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、周波数を選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
調整可能な周波数はバンドによってかわります。
- 8 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、バンド幅（Q）を調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
バンド幅は0.5 / 1 / 2 / 3 / 4 / 5の6段階に調整できる。
- 9 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベル（±9dB 1dBステップ）を調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
- 10 さらに別のバンドを調整するには、手順6～9を繰り返す。
- 11 さらに別のチャンネルを調整するには、手順5～9を繰り返す。
- 12 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



- スピーカーがOFFモードのときは、そのスピーカーのパラメトリックEQは設定できません。「スピーカーの設定をする」（42ページ）を参照してください。
- 隣り合うバンドの周波数は7ステップ以内に調整することはできません。
- イコライザーの調整は、接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。スピーカーの再生周波数が「55Hz～30kHz」の場合、40Hzや20Hzのレベル調整を行っても効果がない場合もあります。
- パラメトリックEQの調整を行うと、グラフィックEQでの調整は無効になります。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は52ページを参照してください。

Bass Compressorの設定

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、BASS SOUND
モードを選ぶ。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、BASS COMP.
を選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、好みのモ
ードを選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
COMP1 → 2 → 3 になるにつれて低音域を強め、よ
り迫力のある音が楽しめる。設定しないときは、「OFF」
を選ぶ。
- 6 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を
押して、項目を選ぶ。

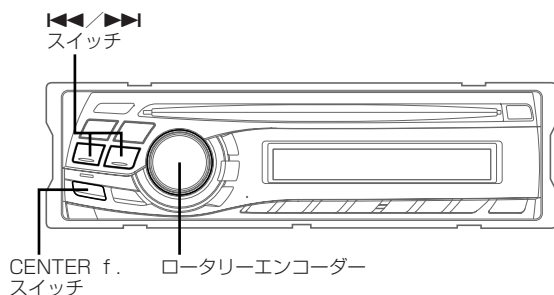
Bass Focusの設定

あらかじめ設定されているステップ値（時間差）を使用することで、前後/左右同時に時間差が設定でき、感覚的に時間補正を調整することができます。ステップは、0.05ms 間隔で0 ~ 400 ステップ用意しています。

- 1 ディフィートがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、BASS SOUND
モードを選ぶ。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、BASS FOCUSを
選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を押して、前後左右のス
ピーカーを選ぶ。
- 6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、前（左右）
スピーカーのステップを設定し、「ロータリーエンコー
ダー」を押す。
- 7 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を
押して、項目を選ぶ。



- Bass Focusでの設定はタイムコレクション（時間補正）にも反映されます。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は52ページを参照してください。



スピーカーセットアップ

お使いになるスピーカーの再生周波数帯域に応じて、PXA-H700またはPXA-H701を設定することができます。この操作を行う前に、各スピーカー（サブウーハー以外）の再生周波数帯域を調べて低音再生が可能かを確認してください（80Hz以下が目安です）。



●本設定調整中は、本機側でストップ／ポーズ（一時停止）／ディスク交換／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

- 1 ディフティットがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、SP SETUPモードを選ぶ。
- 4 「ロータリーエンコーダー」を押して、スピーカーを選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、スピーカー特性を選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
OFF*¹ : スピーカーを接続していない場合
SMALL : 低域（80Hz 以下）が再生できないスピーカーを接続している場合
LARGE*² : 低域（80Hz 以下）が再生できるスピーカーを接続している場合
*¹ フロントスピーカーは、OFFにはできません。
*² フロントスピーカーがSMALLのときはリアスピーカーとセンタースピーカーをLARGEにできません。
- 6 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



- センタースピーカーをOFFにすると、フロントスピーカーから出力される音声信号に、センターの音声信号をプラスします。
- スピーカー特性をOFFに設定した場合はスピーカー設定もOFFに設定してください。（42ページ参照）
- セットアップは「フロント」「センター」「リア」「サブウーハー」の全てを行ってください。セットアップを行わなかった場合は「フロント」「センター」「リア」「サブウーハー」のバランスが崩れることがあります。
- センターをOFFに設定した場合は、この機能で「センター」の設定を行っても効果がありません。
- 各スピーカーの設定を変更すると、その設定条件により変更したスピーカー以外の出力も変化することがあります。
- PRO LOGIC IIでご使用の場合、リアスピーカーを「LARGE」に設定するとサブウーハーは出力されません。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は52ページを参照してください。

Dolby 5.1chを設定する

スピーカーレベルを調整する

本機から出力されるテストトーンで各スピーカーの音量が同じ大きさになるように調整します。各スピーカーの音量をリスニングポジションにおいて同じ大きさに調整することで高い臨場感が得られます。



●本設定調整中は、本機側でストップ／ポーズ（一時停止）／ディスク交換／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

- 1 ディフティットがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、5.1CH SETUPモードを選ぶ。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、OUTPUT LEVELを選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を押して、調整するスピーカーを選ぶ。
選んだスピーカーからテストトーンが鳴ります。
- 6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、出力レベルを調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
- 7 手順5～6を繰り返し、それぞれの音量が同じになるように調整する。
・各スピーカーは-10dB ~ +10dB の範囲で調整できる。
・フロントスピーカーを基準に調整を行ってください。

- 8 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を
押して、項目を選ぶ。



- スピーカーが「OFFモード」のときは、その
スピーカーのレベル調整はできません。「スピー
カーセットアップ」(48ページ)を参照して
ください。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めし
ます。記憶方法は52ページを参照してくださ
い。

リアに低域音声をミキシングする

リアスピーカーから出力される音声信号に、フロントの音
声信号をミキシングします。
後部座席でより聴きやすくなります。



- 本設定調整中は、本機側でストップ/ポーズ
(一時停止) / ディスク交換 / 曲の頭出し / 早
送り / 音声切りかえなどの操作は行わないでく
ださい。デコード状態が切りかわると設定が解
除されます。

- 1 ディフティートがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、5.1CH SETUP
モードを選ぶ。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、REAR MIXを選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、REAR
MIX ON/OFFを選び、「ロータリーエンコーダー」を
押す。
ONに設定するとリアスピーカーから出力される音声信
号に、フロントの音声信号をミキシングします。
- 6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを
調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
レベルは-6、-3、0、+3、+6まで調整できる。
レベルが大きくなると、リアスピーカーから出力され
る低域の音声が増加する。(効果は、DVDなどのソフト
によって異なる。)
- 7 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を
押して、項目を選ぶ。



- スピーカーセットアップの設定がリア「OFF」
の時は調整を行っても効果がありません。
- リアPCM信号の場合は、REAR FILLや
REAR MIXの設定に関わらずリアスピーカー
から音声が出されます。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めし
ます。記憶方法は52ページを参照してくださ
い。

音像を調整する

臨場感ある音声を再現するには、センタースピーカーをリス
ニングポジションの真正面に置かなくてはなりません。
この機能で仮想的に、センタースピーカーの音を両サイド
に振り分けることにより、センタースピーカーが真正面
にあるような音像を作り出すことができます。(「PRO
LOGIC IIを使う」(51ページ)で「PL II MUSIC」を選
択し、センター幅の調整機能が動作中は、この機能で調整
を行っても効果がありません。)



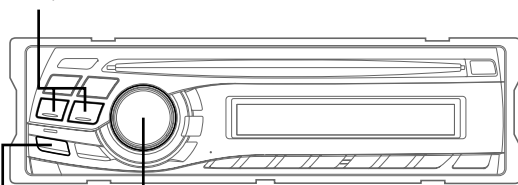
- 本設定調整中は、本機側でストップ/ポーズ
(一時停止) / ディスク交換 / 曲の頭出し / 早
送り / 音声切りかえなどの操作は行わないでく
ださい。デコード状態が切りかわると設定が解
除されます。

- 1 ディフティートがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、5.1CH SETUP
モードを選ぶ。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、BI-PHANTOMを
選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、
BI-PHANTOM ON/OFFを選び、「ロータリーエンコ
ーダー」を押す。
ONに設定すると、仮想的にセンタースピーカーの音を
両サイドに振り分けることにより、センタースピーカ
ーが真正面にあるような音像を作り出すことができま
す。
- 6 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを
調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
レベルは-5~+5まで調整でき、レベルが大きくな
ると、音像はセンタースピーカーの位置から両サイドに
移る。
- 7 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を
押して、項目を選ぶ。



- スピーカーセットアップでセンタースピーカー
の設定を「SMALL」や「LARGE」にすると
効果が得られます。
- 「スピーカーの設定をする」(42ページ)にて、
設定したスピーカーがCENTERでOFFの時に
は、効果はありません。
本機設定後のDVD再生時は、その性質上、他
のソースよりも音楽信号レベルが低下しますが
故障ではありません。「DVDレベルを調整する」
(50ページ)でレベル調整を行ってください。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めし
ます。記憶方法は52ページを参照してくださ
い。

◀◀/▶▶
スイッチ



CENTER f. ロータリーエンコーダー
スイッチ

迫力のある大音量再生を楽しむには

ドルビーデジタルでは通常の音量で十分な迫力が楽しめるように「ダイナミックレンジ」が圧縮されています。この圧縮を解除することにより、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」のある音を楽しむことができます。



●この機能は、ドルビーデジタルの場合のみ有効です。

- 1 ディフューズがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、5.1CH SETUP モードを選ぶ。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、LISTEN MODEを選ぶ。
- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、STANDARDまたはMAXIMUMを選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
STANDARD：通常の音量で迫力のある音を楽しむとき
MAXIMUM：大音量で迫力のある音を楽しむとき
- 6 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。
- DVDソフトなどのソースの種類によっては効果がないものがあります。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は52ページを参照してください。

DVDレベルを調整する

ドルビーデジタル/DOLBY PL II/DTS/PCM それぞれのモードでの音量信号レベルを設定することができます。



Memo

●本設定調整中は、本機側でストップ/ポーズ（一時停止）/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。

- 1 ディフューズがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、DVD LEVELモードを選ぶ。
- 4 「ロータリーエンコーダー」を押して、調整するモードを選ぶ。

→ DOLBY D → PLII → DTS → PCM →

- 5 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、レベルを調整し、「ロータリーエンコーダー」を押す。
レベルは、- 5 ～ + 5 の範囲内で調整できる。
- 6 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



Memo

●設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は52ページを参照してください。

PRO LOGIC IIを使う

2チャンネルで録音された音楽信号にプロロジック処理を行い、DOLBY PRO LOGIC II サラウンドとして楽しむことができます。また、2チャンネルのドルビーデジタル、DTS信号の場合は、リアにフロントの信号を出力する「REAR FILL」を使用することができます。

- 1 デフォルトがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、DOLBY PL II モードを選ぶ。
- 4 「◀◀」または「▶▶」を押して、好みのモードを選ぶ。

MOVIE MODE : ステレオTVショーやドルビーサラウンドでエンコードされたすべてのプログラムに向いています。その効果はディスクリット5.1チャンネルサウンドの質に迫る音場指向性の改善です。

MUSIC MODE : あらゆるステレオ音楽録音で用いられ、広く深い音場を確保できます。

REAR FILL ON : 入力信号によっては、音の出力がフロントスピーカーのみの場合があります。このときREAR FILLを使用することでリアスピーカーからも音を出力させることができます。

OFF : DOLBY PL II 機能をOFFにする。

※ 「MUSIC MODE」を選んだ場合は、以下の操作でさらにセンター幅の調整が行えます。

この機能はセンターチャンネル定位をセンタースピーカーとL/Rスピーカーとの間に調整することにより、最良のボーカル定位を提供します。(この機能の動作中は「音像を調整する」(49ページ)で調整を行っても効果がありません。)

- 1) 「ロータリーエンコーダー」を回転させてCTW_CONT ON/OFFを選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
ONに設定するとセンターチャンネル定位をセンタースピーカーとL/Rスピーカーとの間に調整することにより、最良のボーカル定位を提供する。
- 2) 「ロータリーエンコーダー」を回転させてレベルを調整し「ロータリーエンコーダー」を押す。
レベルは0~7まで調整でき、レベルが大きくなるとセンターチャンネル定位はセンタースピーカーの位置から両サイドに移る。

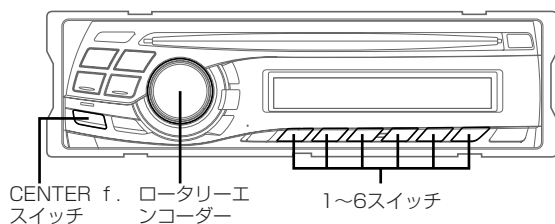
- 5 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。

通常モードに戻る。

続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



- スピーカーセットアップでセンタースピーカーの設定を「SMALL」や「LARGE」にすると効果が得られます。
- 本設定調整中は、本機側でストップ/ポーズ(一時停止)/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。
- 「スピーカーの設定をする」(42ページ)にて、設定したスピーカーがCENTERでOFFの時には、効果はありません。
- この機能は2チャンネル信号のみ有効です。DTSやドルビーデジタルの5.1ch信号が入力されたときは効果がありません。
- REAR MIXがONのときにREAR FILLの設定を行った場合、リアPCM以外の2チャンネルデコード中はREAR MIXを優先させますので、REAR FILL設定での音の変化はありません。
- リニアPCM信号の場合は、REAR FILLやREAR MIXの設定に関わらずリアスピーカーから音声出力されます。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は52ページを参照してください。



リニアPCMの設定

リニアPCM で記憶されたディスクの再生時の出力を2ch または3ch に設定することができます。

- 1 ディフューズがOFFであることを確認する。
- 2 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 3 「CENTER f.」を繰り返し押して、PCMモードを選ぶ。
- 4 「ロータリーエンコーダー」を回転させて、2 CHまたは3 CHを選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
2CH：2ch 出力(L/R)
3CH：3ch 出力(L/R/CENTER)
- 5 設定が終了したら「CENTER f.」を2秒以上押す。
通常モードに戻る。
続けて他の項目を設定する場合は、「CENTER f.」を押して、項目を選ぶ。



●「スピーカーの設定をする」(42ページ)にて、設定したスピーカーがCENTERでOFFの時には、効果はありません。

記憶する

本機は調整/設定した内容を6つまで記憶させることができます。

下記調整/設定項目のすべてが1つのプリセットメモリーに記憶されます。

調整/設定項目	参照ページ
スピーカーの設定	42
時間補正/位相切りかえ/Bass Focusの設定	44～45、47
EQの調整	45～46
X-OVERの調整	43
MXの設定	42
BASS COMP. の設定	47
PRO LOGIC IIの設定/センター幅の調整※	51
ドルビーサラウンドの調整※	48～50
リニアPCMの設定※	52

※入力信号によっては効果がありません。

- 1 記憶させたい値に調整/設定する。
- 2 「1」～「6」のいずれかを2秒以上押して、プリセットメモリー (MEMORY1～MEMORY6) に記憶する。



- ディフューズOFFのときのみ有効です。
- 記憶した内容はバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。
- 記憶した内容はソースを切りかえたときでも保持されています。

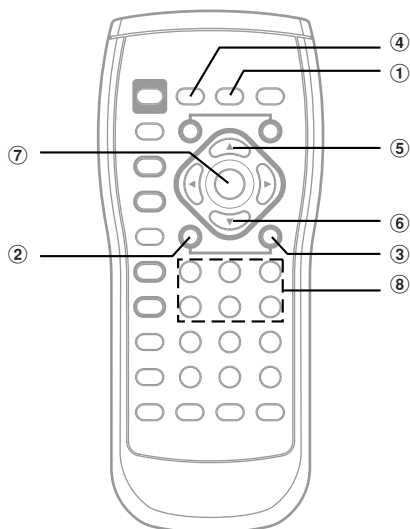
記憶した値の呼び出し

- 1 「CENTER f.」を2秒以上押す。
オーディオプロセッサーコントロールモードになる。
- 2 「CENTER f.」を繰り返し押して、設定したいモードを選ぶ。
- 3 「1」～「6」のいずれかを押して、呼び出したいプリセットメモリー (MEMORY1～MEMORY6) を選ぶ。
プリセットメモリーは、多くの設定/調整内容を記憶しています。そのため、記憶したプリセットメモリーを呼び出すには多少時間がかかります。

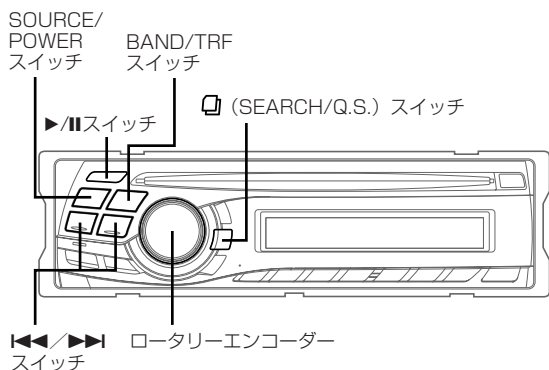


- ディフューズOFFのときのみ有効です。

リモコンで操作する



	リモコンボタン名	機能	本体ボタン
①	A.PROC	オーディオプロセッサーモード呼び出し	CENTER f.
②	◀◀	調整項目切りかえ	◀◀
③	▶▶	調整項目切りかえ	▶▶
④	BAND	L+RまたはL/R切りかえ	BAND/TRF
⑤	▲	選択した設定項目の調整および設定値切りかえ	ロータリーエンコーダー（回転）
⑥	▼	選択した設定項目の調整および設定値切りかえ	ロータリーエンコーダー（回転）
⑦	ENT.	選択した設定項目内の設定項目切りかえ	ロータリーエンコーダー（押す）
⑧	10キー（1～6）	設定値の記憶／呼び出し	1～6



iPod™操作

iPodまたはiPod miniを別売のINTERFACE ADAPTER FOR iPod™ (KCA-420i) を使用して本機に接続すると、本機から操作することができます。その際、iPodからの操作はできなくなります。

- iPodの機能については、iPodユーザズガイドを参照してください。
- 組み合わせるINTERFACE ADAPTER FOR iPod™ (KCA-420i) の取扱説明書もご覧ください。

iPod™の曲を聴く

- 1 「SOURCE/POWER」を押して、iPodモードにする。
- 2 「◀◀」または「▶▶」を押して、聴きたい曲を選ぶ。
 - 演奏中の曲の頭出し.....「◀◀」を押す。
 - 早戻し.....「◀◀」を押し続ける。
 - 次の曲の頭出し.....「▶▶」を押す。
 - 早送り.....「▶▶」を押し続ける。
- 3 演奏を一時停止するときは、「▶/||」を押す。
再度「▶/||」を押すと、演奏が再開する。



- 再生中のiPodを本機と接続すると、今まで聞いていた曲の続きから再生を行います。
- Versatile Link Terminal (KCA-410C) を使用し、iPodとチェンジャーを接続している場合は、「BAND/TRF」を押してiPodを選びます。

聴きたい曲を探す

iPodには数百曲・数千曲が入るため、聴きたい曲を探し出すのが大変です。そのため、本機ではさまざまな検索が可能になっています。



- サーチモード中に「◻」(SEARCH/Q.S.)を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。
- 日本語表示や全角文字など本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。
- シャッフル (M.I.X.) 演奏中はサーチモードは使用できません。

Playlist (プレイリスト) から探す

- 1 「◻」(SEARCH/Q.S.) を押してPLAYLISTサーチモードにする。
押すたびにサーチモードは切りかわる。PLAYLISTを選択して4秒後に自動的にPlaylistサーチモードに切りかわる。
- 2^{*1} 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回してPlaylistを選ぶ。
- 3 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだPlaylistが再生される。



選んだPlaylistの中の曲を検索するには

- 1 上記手順2^{*1}でPlaylist選択後、「◻」(SEARCH/Q.S.)を押して選んだPlaylistのsongサーチモードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回して曲を選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだ曲が再生される。



- 手順2^{*1}でiPodに登録されている「iPod名」を選択すると、iPod内の全ての曲の再生を行います。

アーティスト名から探す

- 1 「**Q**」(SEARCH/Q.S.)を押してARTISTサーチモードにする。
押すたびにサーチモードは切りかわる。ARTISTを選択して4秒後に、自動的にアーティストサーチモードに切りかわる。



- 2^{*2} 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回してアーティストを選ぶ。
- 3 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだアーティストの曲が全曲再生される。

選んだアーティストの中のアルバムを検索するには

- 1 上記手順2^{*2}でアーティスト選択後、「**Q**」(SEARCH/Q.S.)を押して選んだアーティストのALBUMサーチモードに切りかえる。
- 2^{*3} 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回してアルバムを選ぶ。
- 3 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだアルバムの曲が全曲再生される。

選んだアルバムの中の曲を検索するには

- 1 上記手順2^{*3}でアルバム選択後、「**Q**」(SEARCH/Q.S.)を押して選んだアルバムのsongサーチモードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回して曲を選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだ曲が再生される。



- 手順2^{*2}でALLを選び、「ロータリーエンコーダー」を押すと、iPod内の全ての曲の再生を行います。ALLを選び「**Q**」を押すと、全てのアーティストのALBUMサーチモードになります。
- 手順2^{*3}でALLを選び、「ロータリーエンコーダー」を押すと、選んだアーティストの全ての再生を行います。ALLを選び「**Q**」を押すと、選んだアーティストのSongサーチモードになります。

アルバム名から探す

- 1 「**Q**」(SEARCH/Q.S.)を押してALBUMサーチモードにする。
押すたびにサーチモードは切りかわる。ALBUMを選択して4秒後に自動的にアルバムサーチモードに切りかわる。



- 2^{*4} 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回してアルバムを選ぶ。
- 3 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだアルバムが全曲再生される。

選んだアルバムの中の曲を検索するには

- 1 上記手順2^{*4}でアルバム選択後、「**Q**」(SEARCH/Q.S.)を押して選んだアルバムのsongサーチモードに切りかえる。
- 2 10秒以内に「ロータリーエンコーダー」を回して曲を選び、「ロータリーエンコーダー」を押す。
選んだ曲が再生される。



- 手順2^{*4}でALLを選び、「ロータリーエンコーダー」を押すと、サーチモードを解除します。ALLを選び「**Q**」を押すと、全てのアルバムのSongサーチモードになります。

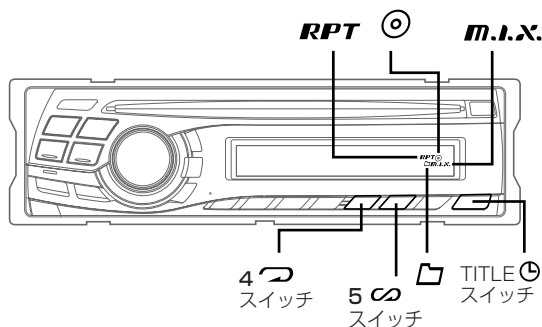
クイックサーチ

簡単にiPod内の曲(ファイル)を選択することができます。

- 1 「**Q**」(SEARCH/Q.S.)を2秒以上押す。
クイックサーチモードになる。
- 2 「ロータリーエンコーダー」を回して、希望の曲を選ぶ。
選んだ曲が演奏される。



- iPodモード時のクイックサーチは、通常のクイックサーチよりも動作に時間がかかります。
- サーチモード中に「**Q**」(SEARCH/Q.S.)を2秒以上押す、または10秒間何も操作を行わないと、サーチモードは解除されます。



曲順を変えて聴く シャッフル (M.I.X. ミックス)

iPodのシャッフル機能は、ヘッドユニットではM.I.X.と表示されます。

シャッフル・アルバム：

iPod内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

あらかじめプレイリスト・アーティスト検索モードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト内のアルバムをランダムに選択し、アルバムの曲の順番通りに演奏する。

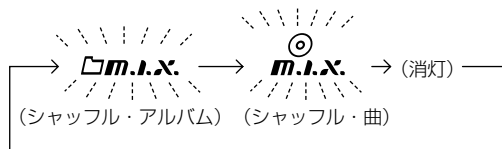
シャッフル・曲：

iPod内の全曲を順不同に演奏する。

あらかじめプレイリスト・アーティスト・アルバム検索モードで曲が選択されていた場合、そのプレイリスト・アーティスト・アルバムの曲を全曲、順不同に演奏する。

- 1 「5」を押して、<M.I.X.インジケーター>を点灯させる。

順不同に曲を演奏する。



- 2 解除するには、上記手順で<M.I.X.インジケーター>を消灯させる。



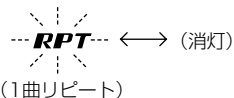
- サーチモードについて詳しくは「聴きたい曲を探す」(54ページ)を参照してください。
- アルバム検索モードで曲を選んでした場合、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル(M.I.X.)再生されません。
- プレイリストの中にアルバムがない場合は、シャッフル・アルバムを選択してもシャッフル(M.I.X.)再生されません。

繰り返し聴く REPEAT (リピート)

iPodモードでのリピート機能は1曲リピートのみになります。

- 1 「4」を押して、<RPTインジケーター>を点灯させる。

選んだ曲を繰り返し演奏する。



- 2 解除するには、上記手順で<RPTインジケーター>を消灯させる。



- リピート再生中は◀◀、▶▶を押して他の曲を選ぶことはできません。

テキストを表示する

iPodの曲(ファイル)のプレイリスト名、タグ情報を表示させることができます。

- 1 「TITLE」を押す。

プレイリスト名、タグ情報が表示される。



※タグ表示

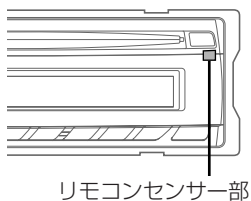


- 半角英数記号 (ASCII) のみ、表示することができます。
- iTunesでアーティスト名、アルバム名、曲名を設定するときに、文字数が多くなると本機接続時に曲が再生されない場合があります。250文字以内に設定することをお勧めします。詳しくはインフォメーションセンターにお問い合わせください。ただし、ヘッドユニットで表示可能な文字数は64文字 (64byte) までになります。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- 日本語表示や全角文字など本機で対応していない文字情報の場合、「NO SUPPORT」と表示されます。
- プレイリスト名を表示させることはできません。

リモコン操作

使用時のご注意

- リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向けて2メートル以内でお使いください。
- リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気やホコリを避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。



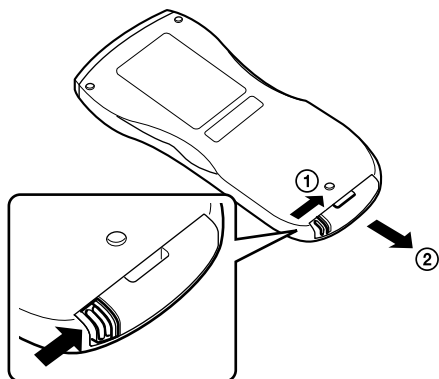
リモコンセンサー部

電池を入れる

電池はリチウム電池（CR2025）をご使用ください。

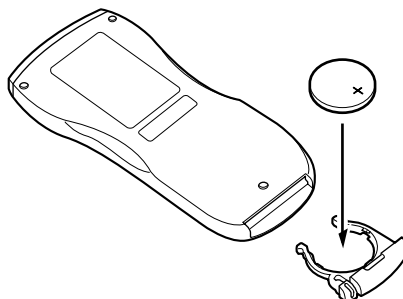
1 電池ホルダーを外す

矢印①の方向へ押しながら、矢印②の方向へ押し出します。



2 電池を入れる

図のように（+）側を上に向けて、電池を入れてください。

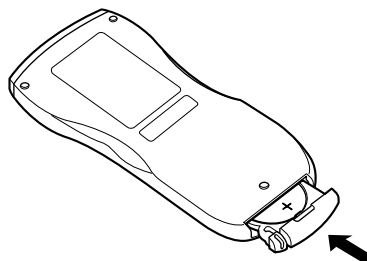


Memo

- 電池の極性を逆に入れると故障の原因になります。

3 電池ホルダーを閉める

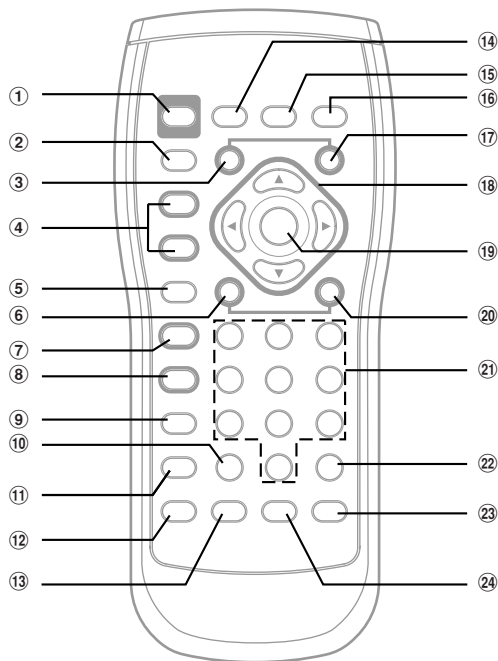
電池ホルダーを“カチッ”と音がするまで差し込みます。



警告

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

リモコンボタンの機能



- ① **PWRボタン**
電源ON/OFF切りかえ
- ② **SRCボタン**
オーディオソース切りかえ
- ③ **DNボタン**
ラジオモード : プリセットDOWN
CDチェンジャーモード : ディスクDOWN
MP3/WMAモード : フォルダDOWN
- ④ **VOLUME▲/▼ボタン**
音量を調整
- ⑤ **RETURNボタン**
DVD/ビデオCDモード : ひとつ前の選択画面へ戻る
(ディスクによっては戻らないものもあります)
- ⑥ **◀◀ボタン**
ラジオモード : SEEK DOWN
CD/チェンジャーモード : トラックDOWN
押し続けると早戻し
MP3/WMAモード : ファイルDOWN
押し続けると早戻し
DVD/ビデオCDモード :
・映像の頭出し
・再生中に1秒以上押しで2倍速早戻し。その状態で5秒以上押し続けると8倍速で早戻し
・一時停止中に押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生。その状態で5秒以上押し続けると1/2倍速でスローモーション再生 (DVDのみ)
・一時停止中に1回押すごとにコマ送り再生 (DVDのみ)
- ⑦ **▶/||ボタン**
ディスクモード : 再生/一時停止切りかえ
SEARCHボタン
MP3/WMAモード : フォルダ/ファイルサーチ
- ⑧ **■ボタン**
DVD/ビデオCDモード : 再生停止
- ⑨ **MENUボタン**
DVDモード : メニュー画面呼び出し
- ⑩ **CLR (ALL CLR) ボタン**
選択/入力した数字を1文字ずつ取り消す
2秒以上押しで、選択/入力した数字を全文字消去する
- ⑪ **DISP/TOP M.ボタン**
DVD/ビデオCDモード : 再生状態を表示
DVDモード : 2秒以上押しで、トップメニュー画面表示
- ⑫ **SETUPボタン**
DVD SETUP (初期設定) 画面を呼び出す
- ⑬ **AUDIOボタン**
DVDモード : 音声言語切りかえ
ビデオCDモード : 音声出力切りかえ
- ⑭ **BANDボタン**
ラジオモード : バンド切りかえ
CD/MP3/WMA/チェンジャーモード : ディスクモード切りかえ
- ⑮ **A.PROCボタン**
オーディオプロセッサリスト画面を呼び出す
- ⑯ **MUTEボタン**
瞬時に音量が下がる。再度押すと解除する
- ⑰ **UPボタン**
ラジオモード : プリセットUP
CDチェンジャーモード : ディスクUP
MP3/WMAモード : フォルダUP
- ⑱ **▲、▼、◀、▶ボタン**
画面に表示される項目を選択
- ⑲ **ENT. ボタン**
選択した項目を決定する
- ⑳ **▶▶Iボタン**
ラジオモード : SEEK UP
CD/チェンジャーモード : トラックDOWN
押し続けると早送り
MP3/WMAモード : ファイルDOWN
押し続けると早送り
DVD/ビデオCDモード :
・映像の頭出し
・再生中に1秒以上押しで2倍速早送り。その状態で5秒以上押し続けると8倍速で早送り
・一時停止中に押し続けると、1/8倍速でスローモーション再生。その状態で5秒以上押し続けると1/2倍速でスローモーション再生
・一時停止中に1回押すごとにコマ送り再生
- ㉑ **10キー**
DVD/ビデオCDモード : 数字の入力
- ㉒ **MONITORボタン**
接続しているモニターの入力モード切りかえ
- ㉓ **ANGLEボタン**
DVDモード : 映像アングルの切りかえ
- ㉔ **SUBTITLEボタン**
DVDモード : 字幕言語の切りかえ



取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

・ RCAコード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

9) スピーカーの接続

- 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
- スピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものをお使いください。

- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。

11) 取り付け場所について

CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。

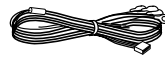
- 水平に対して35度以内に取り付けてください。

- 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード



COAX延長コード
(1.5m)



※必要に応じてご使用ください。

ステアリングリモコン
延長コード (1.5m)



※必要に応じてご使用ください。

サラネジ
(M5×8)



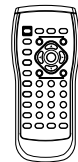
×4

バインドネジ
(M5×8)



×4

リモコン



電池
(CR2025)



マジックテープ
(外接ボックス取付用)



- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。（ブラケットは、4. 取り付ける2.で利用します。）

3. 接続する

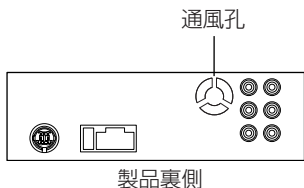
- 62ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、✓点があるところはどうか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。



取り付けと接続

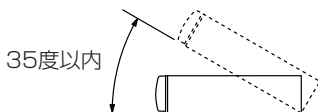
4. 取り付ける

⚠ 注意 通風孔や放熱板をふさがない。
通風孔・放熱板をふさがないでください。通風孔・放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因になります。



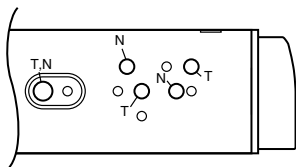
取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

- 1) CDの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

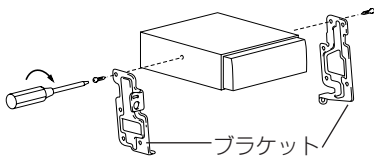


- 2) 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。

取り付け用ネジ穴



N穴→ニッサン車専用
T穴→トヨタ・ミツビシ車専用



- 3) 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
- 4) インパネを取り付ける。
- 5) コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
- 6) バッテリーマイナス端子を接続する。



Memo

- 車両雑音から守るために
- ・アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
- ・本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- ・バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ・ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。



⚠ 注意 <外接ボックス取り扱い上のご注意>

- 外接ボックスは、フロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
- 外接ボックスのケーブルは他のオーディオケーブルと一緒に束ねたり、また本体に接触させないでください。雑音の原因になります。
- 外接ボックスは熱を持ちますが、故障ではありません。

5. 確認する

- 1) イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
- 2) ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。



Memo

IN-INTの接続について

IN-INTコードは次の組み合わせ時に使用します。

- 音声認識対応のナビゲーションと組み合わせる。
音声認識対応のナビゲーションのミュートコードに接続します。
音声認識操作のとき本機の音量をミュートさせます。
詳しくはナビゲーション側の説明書を参照してください。
- OUT-INT対応の製品と組み合わせる
Ai割り込みBOX (NVE-K200)、またはAi-RCA変換ケーブル (KCA-121B) などとOUT-INT対応のTV (TVE-T038など) を組み合わせるときに接続します。
TVの音声を本機に割り込ませます。
詳しくは組み合わせる製品の説明書を参照してください。



スイッチ切りかえについて

スイッチを理解する。

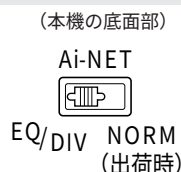
取り付け前やシステムアップを行うとき、本機底面スイッチの切りかえが必要になる場合があります。

切りかえは次の手順で行ってください。

- 1) 電源コードを抜く。
- 2) 棒状のものを垂直に挿入する。
- 3) 指定のポジションに切りかえる。
- 4) 電源コードを接続する。

システムスイッチ

本機にAi-NET対応のイコライザーを接続するときは、「EQ/DIV」側に切りかえます。



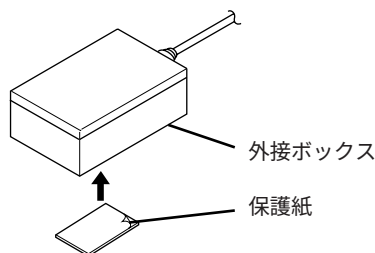
Memo

- チェンジャーのみを接続する（Ai-NET対応イコライザーを使わない）場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

外接ボックスの取り付けについて

外部オーディオプロセッサ（PXA-H510,PXA-H700など）と組み合わせ、光ファイバーケーブルを接続する際には、光ファイバーケーブルが破損しないように必ず付属のマジックテープで外接ボックスを固定するように取り付けてください。

外接ボックスに付属のマジックテープを貼り付け、運転操作の妨げとならない平らな場所（フロアマットなどに）固定する。

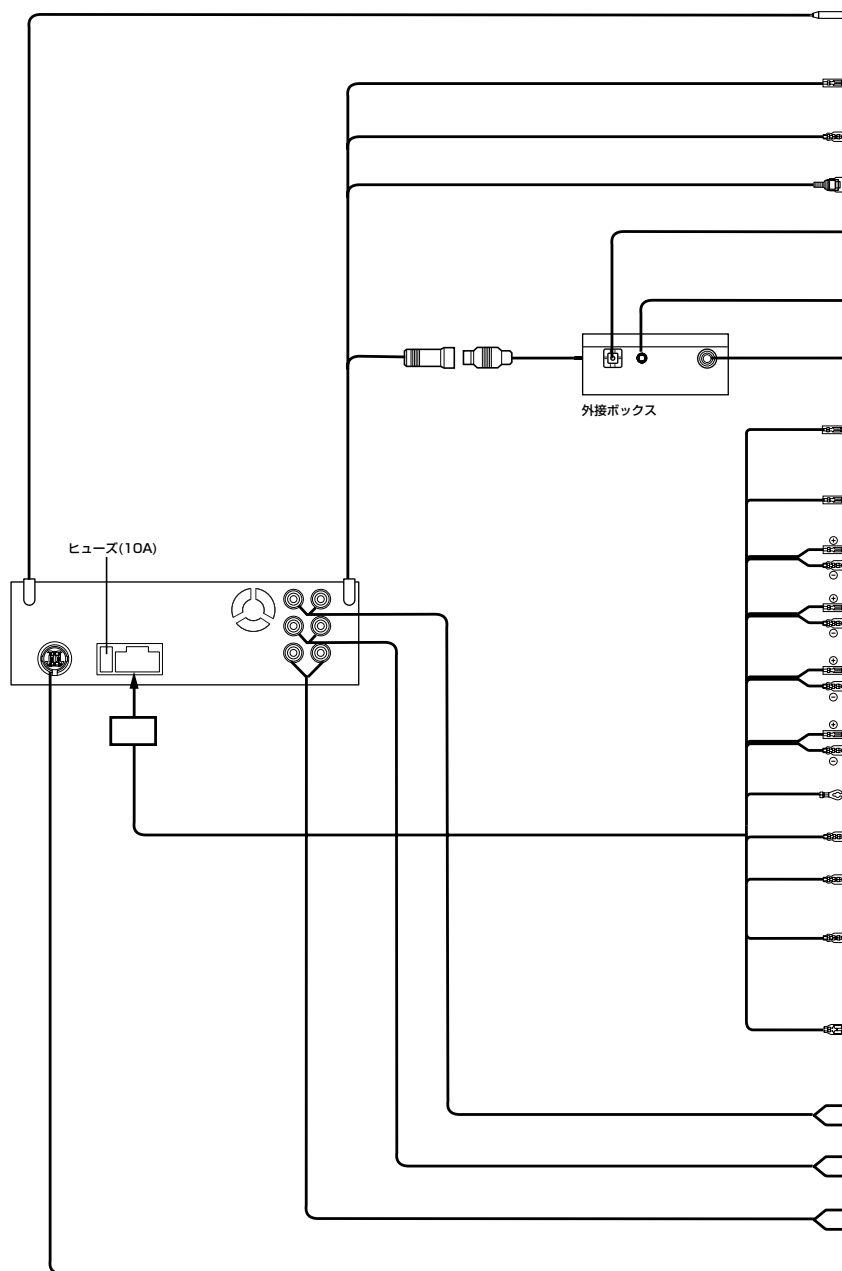


⚠ 注意 外接ボックス取り扱い上のご注意

- 外接ボックスをフロアマットに固定する時は、足でケーブルを踏まない場所へケーブルを引き回してください。
- 外接ボックスは、必ず付属のマジックテープで固定してください。固定しないとケーブルに接触し、ケーブルなどの破損の原因になります。
- 外接ボックスは、フロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
- 外接ボックスのケーブルは他のオーディオケーブルと一緒に束ねたり、また本体に接触させないでください。雑音の原因になります。
- 外接ボックスは熱を持ちますが、故障ではありません。



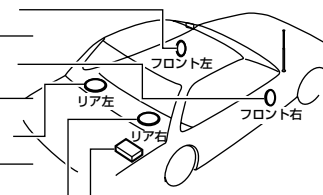
基本接続図





● 左記接続先の丸番号は、「6. システムアップの例」で使用します。

コード色	コード仕様	接続先
	● アンテナソケット 車のアンテナプラグに接続	アンテナからの信号を受けるコードです。
白/桃	● モニターコントロールコード タッチパネル対応モニターと接続する場合に使用します。	組み合わせるALPINE製品 タッチパネル対応モニターのモニター コントロールコードに接続 ①
白/茶	● リモコン入力コード リモコン信号を入力するためのコードです。	組み合わせるALPINE製品のリモート 出力コードに接続 ②
黄	● ビデオ出力端子 映像を出力します。	組み合わせる製品のビデオ入力に接続 ③
	● 光デジタル出力端子 光デジタル入力対応製品と組み合わせるときに使用します。	システムアップの際に使用 ④
	● ステアリングリモコンコネクター 車のステアリングリモコンで操作するときを使用します。	リモートコントロール・インターフェイス・ ボックスと接続 (必要に応じて付属のステアリングリモコン 延長コードをご使用ください)
	● COAX出力端子 COAX対応製品とシステムアップするときに使用します。	COAX入力端子と接続 ⑤
桃/黒	● 音声割り込み (IN-INT) コード 通常は使用しません。	音声割り込み対応製品追加 の際、またはナビゲーションのミュート コードへの接続に使用。詳しくは「IN-INT の接続について」(60ページ)を参照して ください。
青/白	● リモートオンコード 本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器の ON/OFFを連動させます。	アンプ/イコライザー追加の際に使用 ⑥
白	● スピーカーコード (フロント左) フロント左スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2 ~ 8Ωのものを使用し てください。)	フロント左のスピーカーに接続
白/黒	● スピーカーコード (フロント右) フロント右スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2 ~ 8Ωのものを使用し てください。)	フロント右のスピーカーに接続
灰	● スピーカーコード (リア左) リア左スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2 ~ 8Ωのものを使用し てください。)	リア左のスピーカーに接続
灰/黒	● スピーカーコード (リア右) リア右スピーカーを駆動する信号を出力します。 (接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2 ~ 8Ωのものを使用し てください。)	リア右のスピーカーに接続
黒	● アースコード 車体の金属部分へしっかりと固定します。	車体に接続
橙	● イルミネーションコード スモールランプなどのライトに連動して本機ディスプレイ部の照明の 明暗切りかえを行います。	車のスモールランプコードに接続
赤	● ACC電源コード エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。	ACCポジションで電源が供給される コードに接続
黄	● バッテリー電源コード エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。 通常、車のバッテリーへの接続で十分ですが、さらに良い音で楽し みたいときは、直接車側のバッテリーに配線すると良いでしょう。詳しくは、 お買い上げ店にご相談ください。	常に電源が供給される (バッテリー電源プラス) コードに接続
青	● パワーアンテナ/プースターコード ラジオのON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力 します。また、ウインドウシールドアンテナなどプースターが付いている 車輻はプースター電源としても使うことができます。(プースターが 付いているものは必ず接続してください。接続を忘れるとラジオの受信 状態が極端に悪くなります。)	車のパワーアンテナコードまたは アンテナ プースターに接続
白	● リアブリ出力コード リア左右のリアンプ信号を出力します。	アンプ/イコライザーなど追加の際に使用 ⑦
赤	● フロントブリ出力コード フロント左右のリアンプ信号を出力します。	アンプ/イコライザーなど追加の際に使用 ⑧
白	● サブウーハー出力コード サブウーハー用信号を出力します。 サブウーハーを接続するときは、SUB-Wを「ON」に設定してください。	サブウーハー追加の際に使用 ⑨
赤	● Ai-NETコネクター Ai-NETチェンジャーなどでシステムアップするときに使用します。	Ai-NETコードでAi-NET製品と接続 ⑩





取り付けと接続

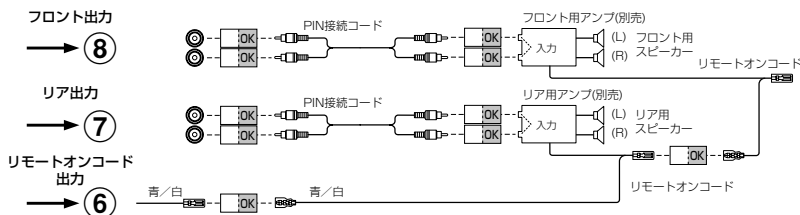
6. システムアップの例

1) 外部アンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



● 外部アンプを接続するときは、内蔵アンプの供給電源を止めることで、音質を更に高めることができます。詳しくは「外部アンプを接続する」(32ページ)を参照してください。

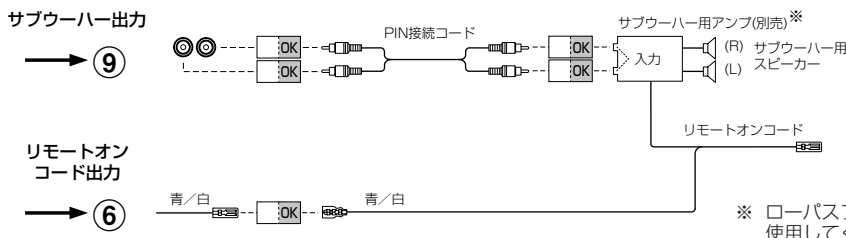


2) サブウーハーアンプを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



● 「サブウーハーを接続する」(31ページ)を参照してください。



※ ローパスフィルター内蔵のアンプを使用してください。

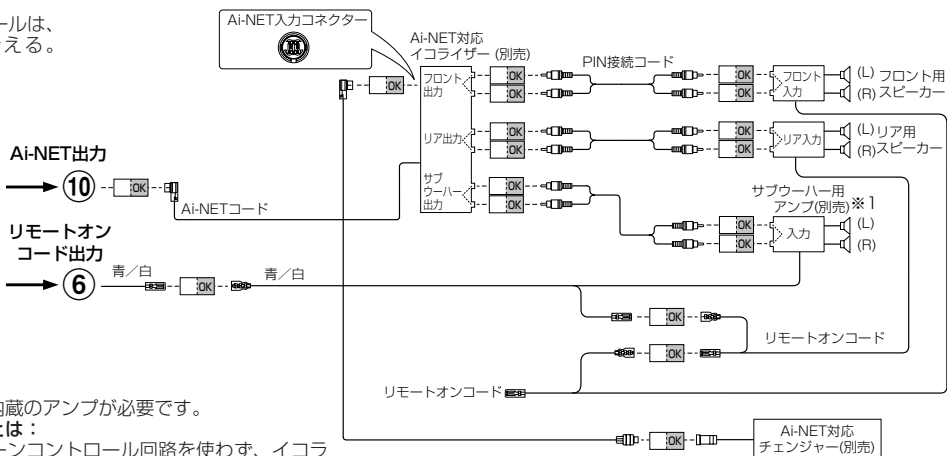
3) 「Ai-NET対応イコライザー」 + 「チェンジャー」を接続する (外部アンプ使用時)

システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------



● チェンジャーのみを接続する (Ai-NET対応イコライザーを使わない) 場合、システムスイッチは「NORM」に設定してください。

この場合、トーンコントロールは、イコライザー側でのみ行える。(トーンバイパス機能) ※2



※1 ローパスフィルター内蔵のアンプが必要です。

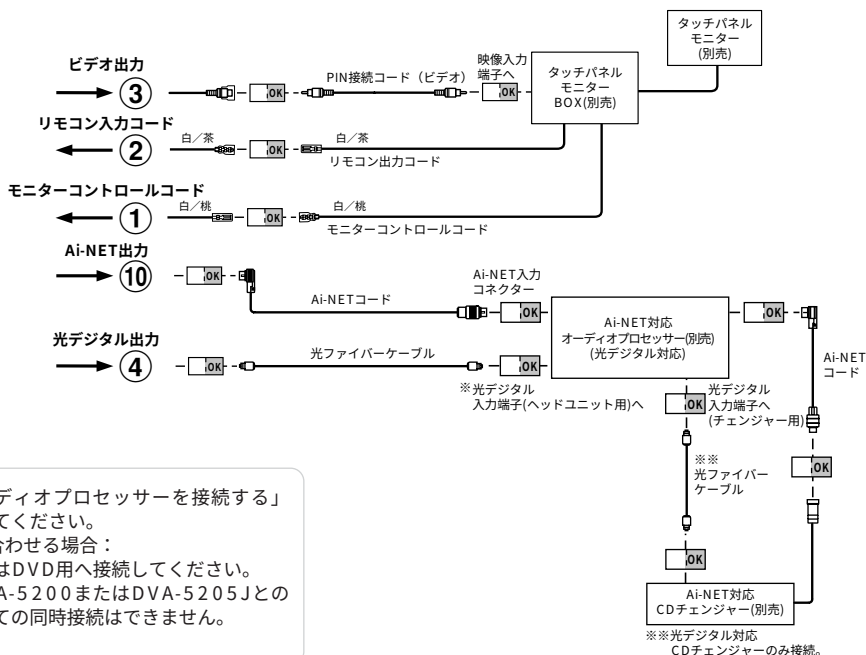
※2 トーンバイパス機能とは：

ヘッドユニットのトーンコントロール回路を使わず、イコライザーのトーンコントロール回路だけで調整することです。



4) Ai-NET対応オーディオプロセッサー（光デジタル対応）およびタッチパネルモニター、チェンジャーを接続する

システムスイッチ	EQ/DIV
----------	--------



Memo

- 「光デジタル対応オーディオプロセッサーを接続する」(34ページ)を参照してください。
- ※PXA-H510と組み合わせる場合：
 - ・光デジタル入力端子はDVD用へ接続してください。
 - ・DVA-9860JとDVA-5200またはDVA-5205Jとの光デジタルを使用しての同時接続はできません。

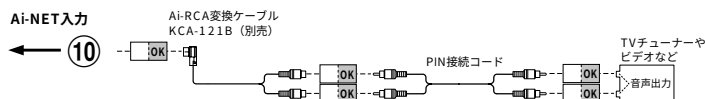


注意 光ファイバケーブルをご使用になるときは、次の点に注意してください。

- 光ファイバケーブルを配線するときは、鋭角に折り曲げないでください。
- 光ファイバケーブルを束ねるときには、小さく束ねないでください。(最小曲げ半径は、30mmです)
- 光ファイバケーブルに製品などを載せないでください。

5) 外部入力にビデオなどを接続する

システムスイッチ	NORM
----------	------



Memo

- 「外部入力の設定」(32ページ)を参照してください。

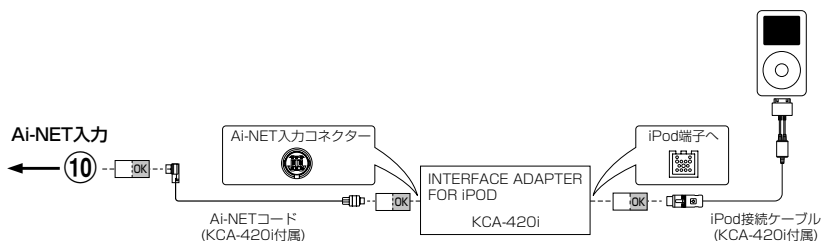


取り付けと接続

6) iPodを接続する

システムスイッチ

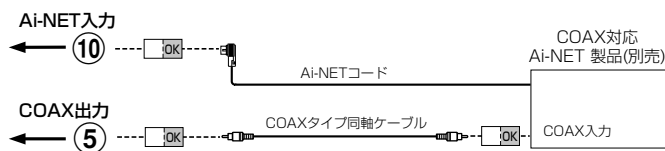
NORM



7) COAX対応・Ai-NET製品を接続する。

システムスイッチ

NORM



- HDA-5460MS、HDA-5465MSまたはMDA-5060MS、MDA-5065MSと接続した場合のリッピング方法については、
 - ・ HDA-5460MS、HDA-5465MS取扱説明書「CDの曲をHDD/“MGメモリースティック”に録音する」
 - ・ MDA-5060MS、MDA-5065MS取扱説明書「CDの曲を“MGメモリースティック”に録音する」
 をご覧ください。
- 必要に応じて付属のCOAX延長コードを使用してください。

- 組み合わせる製品の説明書も合わせてご覧ください。
- KCA-410C (Versatile Link Terminal) と組み合わせると、チェンジャー2台、テレビやビデオなど（外部入力）2台、計4台の製品を接続することができます。詳しくはKCA-410Cの説明書を参照してください。



故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？ → 接続・配線は正しく行われていますか？ → 下の表をもう一度ご確認ください。 → それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P71）にご相談ください。

● 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源をOFF→ONしてください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行なってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。（→P62）
- 内部のマイコンが、ノイズなどの原因で誤動作してしまった。
 - ・ リセットスイッチをボールペンの先などで押す。（→P8）

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ 音量レベルを上げる。（→P8）
- MUTEがONになっている。
 - ・ MUTEを解除する。（→P29）
- フェーダーの設定が適切でない。
 - ・ 2スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。（→P8）

記憶させた内容が消えてしまった。

- リセットスイッチを押した。電源コードまたはバッテリーをはずした。
 - ・ もう一度記憶する。（→P22、25、30）
- バッテリーコードの接続ミス
 - ・ 接続を確認する。（→P62）

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
 - ・ しばらく待つ。

サウンド調整ができない。

- ディフィートがONになっている。
 - ・ ディフィートをOFFにする。（→P8）

ディスク部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
 - ・ ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。／音がとぶ。／音が歪む。／早送り/早戻しができない。

- 車内温度が50℃以上ある。
 - ・ 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
 - ・ ディスクがひどく汚れている。録音状態が良くない。
 - ・ 音楽用ディスクでない。
 - ・ 本機対応のディスクでない。
 - ・ 他のディスクを再生してみる。

● 結露している。

- ・ しばらく放置してから使う。

- ピックアップレンズが汚れている。
 - ・ メンテナンスをする。（お問い合わせ窓口へ）（→P71）
 - ・ レンズクリーナーを使用する場合は、必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。

ディスクが勝手にイジェクトする。

- ディスクの側面/センターホールにバリがある。
 - ・ ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除く。



CD-R/CD-RWが再生できない。

- クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っていない。
 - ・ クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、試してみる。

MP3/WMAが演奏されない。

- 書き込みに失敗している／対応フォーマット以外で書き込まれている。
 - ・ 書き込みに失敗していないか確認する。または、『MP3/WMAについて』を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。（→P76）
- 作成したライティングソフトによっては再生できない場合がある。
 - ・ 他のソフトで試してみる。

動作しない。

- モニター電源が入っていない。
 - ・ モニターの電源を入れる。
- 結露している
 - ・ しばらく放置（1時間程度）してから使う。

映像が出ない。

- モニターのモードがご覧になりたいモードになっていない。
 - ・ ご覧になりたいモードに切りかえる。
- モニターのパーキング・ブレーキ・コードを接続していない。
 - ・ パーキング・ブレーキをかけていない。
 - ・ モニターのパーキング・ブレーキ・コードを接続し、パーキング・ブレーキをかける。
 - （詳しくはモニター側の説明書をご覧ください。）

再生が始まらない。

- ディスクを裏返しに入れている。
 - ・ ディスクを確認し、ラベル印刷面を上にして入れる。
- ディスクが汚れている。
 - ・ ディスクをきれいにする。
- 本機で再生できないディスクが入っている。
 - ・ 再生できるディスクを確認する。（→P3）
- 視聴制限がされている。
 - ・ 視聴制限を解除、または規制レベルを変更する。
- DVDセットアップメニューが表示されている。
 - ・ リモコンのRETURNボタンを繰り返し押して、セットアップメニュー画面を消す。

映像が不鮮明になったり、雑音が入ったりする。

- 早送り／早戻しをした。
 - ・ 多少乱れることはありますが、故障ではありません。
- 車のバッテリー電源が低下している。
 - ・ バッテリー電源および配線を確認する。
 - （負荷状態で11ボルトを下回ると誤作動の原因となります。）
- モニターの蛍光管が消耗している。
 - ・ モニターの蛍光管を交換する。

映像が時々止まる。

- ディスクにキズがある。
 - ・ キズのないディスクと交換する。

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
 - ・ アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
 - ・ アンテナを伸ばす。
 - ・ パワーアンテナ/ブースターコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
 - ・ 周波数を正しく合わせる。（→P22）
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
 - ・ 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
 - ・ アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

自動的に放送局が選べない。

- 電波の弱い地域にいる。
 - ・ ディスタンスモードまたはマニュアルモードで受信する。（→P22）

メッセージが表れたら… (CD部)

NO DISC

- ディスクが入っていない。
・ ディスクを入れる。
- ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏または、イジェクトができない。
・ 次の方法でディスクを取り出す。
①「▲」を2秒以上押す。

HI TEMP

- 車内温度が高すぎる。
・ 車内温度を常温まで下げる。

ERROR

- ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／音楽用ディスクでない。
・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。
- メカニズムエラー。
・ ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。
イジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

NO TEXT

- テキストが入力されていない。
・ CDテキスト対応のCDと交換する。

NO SUPPORT

- 本機 (チェンジャー) で対応していない文字情報が入力されている。
・ 本機で対応している文字情報が入力されたディスクを使用する。(本機では、「漢字」／「ひらがな」などは、表示されない。)

NO DATA

- MP3/WMAファイルにタグ情報が入力されていない。
・ タグ情報が入力されているMP3/WMAファイルを演奏する。

PROTECT

- コピープロテクト (著作権保護) されているWMAファイルを演奏した。
・ コピープロテクトされていないファイルを演奏する。

UNSUPPORT

- 本機指定のMP3/WMAフォーマットで書き込みされていない。
・ 本機指定のフォーマットで書き込みを行う。

メッセージが表れたら… (DVD/ビデオCD部)

NO DISC

NO DISC

(オーディオディスプレイ)

(モニターディスプレイ)

- ディスクが入っていない。
・ ディスクを入れる。
- ディスクは入っているが、「NO DISC」と表示され、演奏またはイジェクトができない。
・ 次の方法でディスクを取り出す。
①「▲」を2秒以上押す。

HI-TEMP

HI TEMP

(オーディオディスプレイ)

(モニターディスプレイ)

- 車内温度が高すぎる。
・ 車内温度を常温まで下げる。

DISC ERROR

ERROR

(オーディオディスプレイ)

(モニターディスプレイ)

- ディスク傷、ディスク汚れ。／録音状態が良くない。／本機対応のディスクでない。
・ 「▲」を押して、ディスクを交換する。
- メカニズムエラー。
・ ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。
イジェクトできないときは、「▲」を2秒以上押してディスクを取り出す。それでもイジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。



(モニターディスプレイ)

- リモコン操作を受け付けられない。
・ ディスクまたは再生状態によって禁止している操作があります。
○マークが表示された場合は、その操作は受け付けできません。

REGIONAL CODE VIOLATION

ERROR

(オーディオディスプレイ)

(モニターディスプレイ)

- ディスクの地域コード番号が合っていない。
・ 地域コード番号が対応しているディスクを入れる。(→P3)

VIDEO SIGNAL SYSTEM IS NOT CORRECT

ERROR

(オーディオディスプレイ)

- PAL対応のディスクを入れた。
・ NTSC対応のディスクを入れる。

LOADING ERROR

ERROR

(オーディオディスプレイ)

EJECT ERROR

(モニターディスプレイ)

- メカニズムエラー。
・ ①「▲」を押して、ディスクを取り出す。
イジェクトできないときは、「▲」を2秒以上押してディスクを取り出す。それでもイジェクトできないときは修理ご相談窓口へ。
② ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度「▲」を押す。
③ 何度押してもエラー表示が消えない場合は修理ご相談窓口へ。

メッセージが表れたら… (チェンジャー部 (オプション))

NO MAGZN	● マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。 ・ マガジンをCDチェンジャーにセットする。
NO DISC	● ディスクが入っていない。 ・ ディスクを入れる。
HI TEMP	● 車内温度が高すぎる。 ・ 車内温度を常温まで下げる。
ERROR-01	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ・ ①「▲」を押す。 ・ ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。 ● メカニズムエラー。 ・ ①「▲」を押す。 ・ ②表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 ・ ③それでも復旧しない…修理ご相談窓口へ。
ERROR-02	● ディスクがマガジンに戻っていない。 ・ ①「▲」を押す。 ・ ②空のマガジンを入れ、もう一度「▲」を押してディスクを回収する。

メッセージが表れたら… (iPod™部 (オプション))

NO IPOD	● iPodが接続されていない。 ・ iPodが正しく接続されているか確認する。また、コードが極端に折れ曲がっていないか確認する。 ● iPodバッテリーの残量が少ない。 ・ iPodユーザーズガイドを参照して、iPodを充電する。
NO FILE	● iPodに曲 (ファイル) が入っていない。 ・ iPodに曲 (ファイル) を転送してから接続する。
ERROR-01	● 通信エラー。 ・ 一度イグニッションキーを「OFF」にしてから、もう一度「ACC」または「ON」にする。 ・ iPodとiPod接続ケーブルを接続しなおして表示を確認する。
ERROR-02	● 本機で対応していないiPodソフトウェア・バージョンである。 ・ KCA-420取扱説明書「本機対応のiPod™について」を参照し、本機対応のiPodソフトウェア・バージョンにアップデートする。

規格

チューナー部

受信周波数	AM ; 522~1,629kHz, FM ; 76.0~90.0MHz
実用感度	AM ; 22.5 μ V, FM ; 0.8 μ V (75 Ω) :9.3dBf (新IHF)
ステレオセパレーション	FM ; 35dB以上
SN比	FM ; 65dB以上
イメージ妨害比	FM ; 80dB以上
IF妨害比	FM ; 80dB以上

CD/DVD部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	5Hz~20kHz ($\pm$ 1dB)
ダイナミックレンジ	95dB (1kHz) 以上
高周波歪率	0.008% (1kHz) 以下
チャンネルセパレーション	90dB (1kHz) 以上
ワウフラッター	測定限界以下
信号システム	NTSC規格
水平解像度	500本以上
画像出力レベル	1Vp-p (75 Ω)
画像SN比	DVD ; 70dB
音声SN比	115dB以上

リモコン部

使用電源	CR2025 $\times$ 1 DC3V
外形寸法	51 (幅) $\times$ 119 (高さ) $\times$ 13 (奥行) mm
重量	50g (電池含まず)

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲 ; 11~16V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	45W $\times$ 4
外形寸法	178 (幅) $\times$ 50 (高さ) $\times$ 160 (奥行) mm
重量	1.6 kg

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買上げ店、または71ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。

- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上げ店、または71ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買上げ店にお問い合わせください。

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成 17 年 5 月 1 日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞

TEL:0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金で
ご利用頂けます。

＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞

TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 土日祝日、
弊社休業日を除く 9:30～17:30

- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせを
おすすめします。

FAX:048-662-6676

- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販売名	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス 郡山オフィス 盛岡オフィス	022-239-5331 024-925-3811 019-664-1210	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池11番5号 〒020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエント5ビル	宮城県 / 山形県 / 秋田県 福島県 青森県 / 岩手県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-48-4772 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目7番2号 〒390-0852 長野県松本市島立830番地の11 深澤ビル102号 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目3-6 エクセレント石山	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都中・南部 / 神奈川県 / 静岡県(大井川以东)
中部圏エリア 中部オフィス 北陸オフィス	052-779-5655 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石3丁目108 〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目72番1号	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西) 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス 高松オフィス	086-243-8257 082-846-1175 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県 / 島根県 / 鳥取県 広島県 / 山口県 徳島県 / 香川県 / 愛媛県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町3の13	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県
(株)パルス	098-866-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安謝217番地3	沖縄県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズ サービス (株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズ サービス (株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

Q&A

Q 画面サイズを大きくできないの？

A 画面サイズを大きくするには、TVモニター側で調整してください。
ALPINE製ワイドモニターの場合は、ZOOMモードまたはシネマモードにすると画面いっぱいに映像が映しだされます。

※ソフトによっては、画面の端が切れたり、縦横の比率が変わる場合がありますので、お好みで設定してください。TVモニター側の取扱説明書もあわせてご覧ください。

Q どんなディスクが再生できますか？

A DVD-ROM、CD-ROM（MP3/WMAファイルを除く）、フォトCD、ナビゲーション専用ディスクなどは再生方式が異なるため再生できません。また、海外で購入したDVDビデオでもリージョンコードやカラーテレビ方式が異なる場合がありますので注意してください。再生可能なディスクについては3ページをご覧ください。

Q 電源をOFFにしてもDVDビデオを続きから見れますか？

A 本機はプレイポジションメモリ機能を搭載しています。再生中に電源またはイグニッションキーをOFFにしても、次に電源をONにすると続きから再生します。

Q ビデオCDがメニュー画面のまま再生できないけど再生するにはどうするの？

A ビデオCDにはプレイバックコントロール（PBC）付きのものが 있습니다。このディスクの場合はメニュー画面から再生したいトラックを選ばないと再生できません。また、PBCを解除することもできます。その場合は音楽CDと同様の再生ができます。

Q リモコンで操作した時に ⊙ マークが表示されて操作できないけど故障なの？

A ディスクまたは再生状態によって禁止している操作があります。⊙ マークが表示された場合は、その操作は受け付けられません。

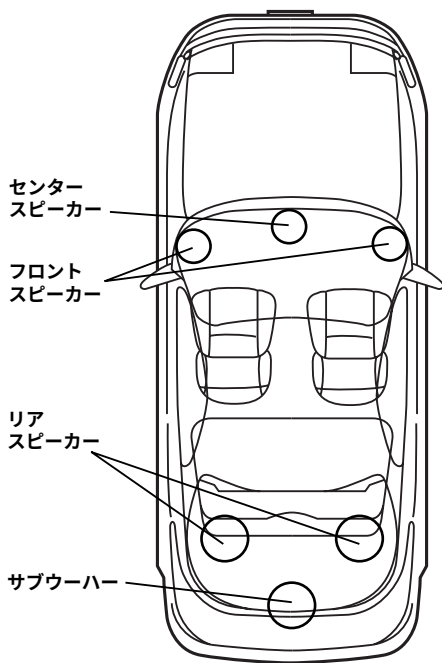
用語解説

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルはドルビー研究所が開発したデジタルオーディオ圧縮技術で、大量のオーディオデータを効率的にディスクに記録できるようにします。モノラル（1チャンネル）から5.1チャンネルのサラウンドサウンドにいたるすべてのオーディオ信号に適合しています。異なるチャンネルへの信号は完全に独立し、さらに高品質のデジタルサウンドのため音質の低下はまったくありません。

※完全な5.1チャンネル・サラウンドサウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H510、PXA-H900、PKG-H701Sなど）が必要です。

DVA-9860Jは、ドルビーデジタルのデコードを行い、アナログオーディオ信号を出力します。その場合は2チャンネルオーディオで5.1チャンネルではありません。



ドルビーデジタル／DTSを楽しむための
スピーカーレイアウト

DTS

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品位の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTSはDigital Theater Systemの略。

※DTSサラウンドを楽しむには別売のDTSデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H900、PKG-H701Sなど）が必要です。また、DVDビデオソフトもDTSに対応したものをご使用ください。

DVA-9860Jは、DTS2チャンネルデコーダーを内蔵しており、アナログ信号を出力します。

PRO LOGIC

PRO LOGICは、ドルビーサラウンドでエンコードされたプログラムをデコードするときに用いられる技術です。PRO LOGICデコーディングによって、2チャンネル（ステレオ）のソースから4チャンネル（フロント左右、中央、およびモノラルリアサラウンド）のサウンドを提供します。

※PRO LOGICサウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PXA-H510、PXA-H900）が必要です。

Dolby PRO LOGIC II

Dolby PRO LOGIC II は、2チャンネルソースを5チャンネルで全帯域再生します。それを行うのが、ソースにない音や音の色付けを加えることなく、オリジナル録音の空間的特質を引き出す先進的で高音質のマトリックスサラウンドデコーダです。

※Dolby PRO LOGIC II サウンドを楽しむには、別売のデジタルオーディオプロセッサ（PKG-H701Sなど）が必要です。

リニアPCM音声（LPCM）

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

視聴規制（パレンタルロック）

国ごとに規制した視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、全く再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

言語コード表

(詳しくは35ページをご覧ください。)

記号	コード	言語
AA	6565	アフアル語
AB	6566	アブバジア語
AF	6570	アフリカーンス語
AM	6577	アムハラ語
AR	6582	アラビア語
AS	6583	アッサム語
AY	6589	アイマラ語
AZ	6590	アゼルバイジャン語
BA	6665	バシキール語
BE	6669	ベラルーシ語
BG	6671	ブルガリア語
BH	6672	ビハーリー語
BI	6673	ビスラマ語
BN	6678	ベンガル語、バングラ語
BO	6679	チベット語
BR	6682	ブルトン語
CA	6765	カタロニア語
CO	6779	コルシカ語
CS	6783	チェコ語
CY	6789	ウェールズ語
DA	6865	デンマーク語
DE	6869	ドイツ語
DZ	6890	プータン語
EL	6976	ギリシャ語
EN	6978	英語
EO	6979	エスペラント語
ES	6983	スペイン語
ET	6984	エストニア語
EU	6985	バスク語
FA	7065	ペルシャ語
FI	7073	フィンランド語
FJ	7074	フィジー語
FO	7079	フェロー語
FR	7082	フランス語
FY	7089	フリジア語
GA	7165	アイルランド語
GD	7168	スコットランドゲール語
GL	7176	ガルシア語
GN	7178	グアラニ語
GU	7185	グジャラート語
HA	7265	ハウサ語
HI	7273	ヒンディー語
HR	7282	クロアチア語
HU	7285	ハンガリー語
HY	7289	アルメニア語
IA	7365	国際語
IE	7369	国際語

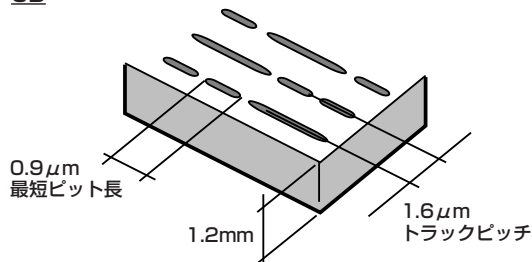
記号	コード	言語
IK	7375	Inupiak語
IN	7378	インドネシア語
IS	7383	アイスランド語
IT	7384	イタリア語
IW	7387	ヘブライ語
JA	7465	日本語
JI	7473	イディッシュ語
JW	7487	ジャワ語
KA	7565	グルジア語
KK	7575	カザフ語
KL	7576	グリーンランド語
KM	7577	カンボジア語
KN	7578	カンナダ語
KO	7579	韓国語
KS	7583	カシミール語
KU	7585	クルド語
KY	7589	キルギス語
LA	7665	ラテン語
LN	7678	リンガラ語
LO	7679	ラオス語
LT	7684	リトアニア語
LV	7686	ラトビア語、レット語
MG	7771	マダガスカル語
MI	7773	マオリ語
MK	7775	マケドニア語
ML	7776	マラヤーラム語
MN	7778	モンゴル語
MO	7779	モルダビア語
MR	7782	マラータ語
MS	7783	マレー語
MT	7784	マルタ語
MY	7789	ミャンマー語
NA	7865	ナウル語
NE	7869	ネパール語
NL	7876	オランダ語
NO	7879	ノルウェー語
OC	7967	プロバンス語
OM	7977	(アフアン) オロモ語
OR	7982	オリヤー語
PA	8065	パンジャブ語
PL	8076	ポーランド語
PS	8083	パシュトー語
PT	8084	ポルトガル語
QU	8185	ケチュア語
RM	8277	ラエティ＝ロマン語
RN	8278	キルンディ語
RO	8279	ルーマニア語

記号	コード	言語
RU	8285	ロシア語
RW	8287	キニヤルワンダ語
SA	8365	サンスクリット語
SD	8368	シンド語
SG	8371	サンゴ語
SH	8372	セルビアクロアチア語
SI	8373	シンハラ語
SK	8375	スロバキア語
SL	8376	スロベニア語
SM	8377	サモア語
SN	8378	ショナ語
SO	8379	ソマリ語
SQ	8381	アルバニア語
SR	8382	セルビア語
SS	8383	シスワティ語
ST	8384	セストゥ語
SU	8385	スンダ語
SV	8386	スウェーデン語
SW	8387	スワヒリ語
TA	8465	タミール語
TE	8469	テルグ語
TG	8471	タジク語
TH	8472	タイ語
TI	8473	ティグリニャ語
TK	8475	トゥルクメン語
TL	8476	タガログ語
TN	8478	セツワナ語
TO	8479	トンガ語
TR	8482	トルコ語
TS	8483	ツォンガ語
TT	8484	タタール語
TW	8487	トウィ語
UK	8575	ウクライナ語
UR	8582	ウルドゥー語
UZ	8590	ウズベク語
VI	8673	ベトナム語
VO	8679	ボラビュク語
WO	8779	ウォロフ語
XH	8872	コーサ語
YO	8979	ヨルバ語
ZH	9072	中国語
ZU	9085	ズール語

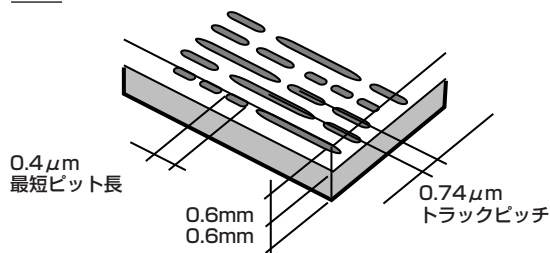
DVDについて

音楽CDやDVD等のディスクには、情報を記録するための溝（トラック）があります。そこに、0と1のデジタル情報を凹凸で表した細かいピットが作られ、それをレーザー光で読み取り再生します。DVDは、トラック間隔をCDの半分以下に狭め、ピットもより細かくして高密度でより多くの情報を記録させています。

CD



DVD



12cmのディスクに映画なら1本分、音楽なら約4時間を収録できます。

さらに水平解像度500本以上の高画質により透明感のある画質、鮮やかな色合いを再現します。また、別売りのデジタルオーディオプロセッサー（PXA-H510、PXA-H900、PKG-H701Sなど）と組み合わせることによりドルビーデジタル5.1chサラウンドで劇場の迫力と臨場感を再現することができます。

さらに、DVDディスクにはいろいろな機能があります。

●マルチ音声機能*（13ページ）

1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。リモコンのボタン操作でお好みの音声で再生することができます。

●マルチアングル機能*（14ページ）

複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、リモコンのボタン操作でお好みのアングル（角度）で再生することができます。

●サブタイトル（字幕）機能*（14ページ）

映画の字幕スーパーなら32カ国語まで収録できます。リモコンのボタン操作でお好みの字幕で再生することができます。

●マルチストーリー機能*

1本の映画の中にいくつものストーリーが入っていて、お好みのストーリーを選ぶことにより何通りものストーリーを楽しむことができます。

操作方法はディスクによって異なりますが、再生中にストーリー選択画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。



●*これらの機能は、ディスクによって収録されている音声言語、字幕、アングルなどが異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

MP3/WMAについて

注意：

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMAデータ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体のISOとIECの共同活動機関であるMPEGが定めた圧縮規格です。MP3は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。また、CDクオリティに近い音質を実現しても約1/10の圧縮率を得ることができます。（サンプリング周波数44.1kHz、ビットレート128kbpsの場合）このような高圧縮率を実現しているMP3フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMAとは？

WMAまたは「Windows Media™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。WMAはMP3オーディオデータと同様に小さいファイルサイズでCD同等の音質を実現しています。

MP3/WMAへ圧縮する方法

MP3/WMA専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照願います。また、本機で再生可能なMP3/WMAファイルは、拡張子が“mp3”/“wma”です。（WMAはVer.7.1、8に対応）

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3：32kHz～48kHz

WMA：32kHz～48kHz

ビットレート

MP3：32kbps～320kbps、WMA：32kbps～320kbps

但し、サンプリングレートによっては、本機のフレーム表示（24ページ）で正しく表示されない場合があります。また、サンプリングレートによっては正常に再生されない場合があります。上記記載以外は動作を保証致しかねます。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3/WMAファイルにタグ情報が入っていれば、タイトル（曲名）、アーティスト名、アルバム名のタグ情報を表示できます。

本機で表示可能な文字は半角の英数、—（アンダーバー）のみです。ひらがな／カタカナ／漢字には対応していません。対応文字以外の場合、「NO SUPPORT」が表示されます。また、タグ情報によっては、文字数が制限されたり正しく表示されないことがあります。

MP3/WMAディスクを作成するには

MP3/WMAファイルを用意し、CD-Rライティングソフトを利用して、CD-R・CD-RWメディアに書き込みます。ファイル最大数：1024、フォルダ最大数：256（ルートフォルダを含む）まで書き込みできます。ただしライティングソフトによっては再生できない場合があります。MP3作成ソフトの一部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生ができないことがあります。このような場合には、他のライティングソフトを使用してMP3フォルダ（ファイル）のみを記憶してください。

対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RWです。

対応ファイルシステム

ISO9660レベル1、レベル2でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大8階層）やフォルダ／ファイル名の文字数、フォルダ／ファイル名で利用できる文字（A～Z、0～9、—（アンダスコア））などの制限があります。

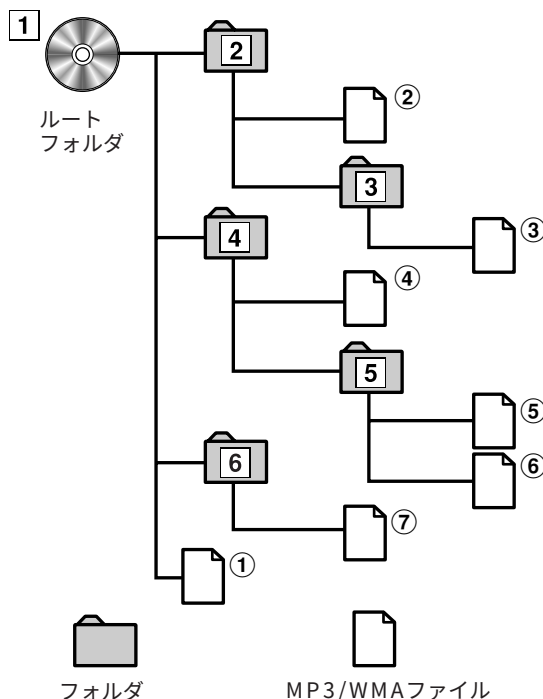
また、Romeo、JolietなどのISO9660準拠であれば、再生は可能です。但し、ファイル名／フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

対応フォーマット

CD-ROM、CD-ROM XA、Mixed Mode CD、Enhanced CD（CD-Extra）、及びマルチセッションに対応しています。但し、Track At Onceやバケットライトで作成されたCDの場合、正常に再生できません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。（実際に表示される番号ではありません）



用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを1秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことで、たとえば、音楽CDは44.1kHzで、1秒間にデータを4万4100回サンプリング（記録）していることになります。高ければ高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽CDやWAVEファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMAファイルに書き込まれた楽曲情報。（MP3：ID3タグ、WMA：WMAタグ）

索引

五十音順

あ 行

アーティスト名から探す	55
アーティスト名表示	24, 25, 56
アルバム名から探す	55
アルバム名表示	24, 25, 56
アングル切りかえ (DVD)	14
一時停止時の映像出力を設定する	40
エンコード	76
オーディオプロセッサの操作	41
お問い合わせ窓口	71
音声言語切りかえ	13
音声言語の設定	35
音量/バスレベル/トレブルレベル/バランス/ フェダー/ディフューズの調整	8
音量調整モード	8

か 行

外部アンプを接続する	32
外部オーディオプロセッサの操作	41
外部入力の設定	32, 33
外部割り込みモードの設定	33
カスタム設定	39
壁紙を設定する	29
カントリーコード設定	37
記憶したタイトルを消す	26
記憶した放送局を受信する	23
聴きたい曲を探す (iPod)	54
規格	70
曲順を変えて聴く (CD)	17
曲順を変えて聴く (iPod)	56
曲順を変えて聴く (MP3/WMA)	20
曲のイントロだけを聴く (CD)	16
曲のイントロだけを聴く (MP3/WMA)	19
曲名表示	24, 25, 56
クイックサーチ (iPod)	55
繰り返し聴く (CD)	17
繰り返し聴く (iPod)	56
繰り返し聴く (MP3/WMA)	20
言語コード表	74
言語設定を変更する	35
高音を強調する	28
故障かな?と思ったら	67
コマ送り/戻し再生	12

さ 行

再生可能なサンプリングレート・ビットレート	76
再生できないディスク	3
再生できるディスク	3
再生中止	11
再生停止	11
サブウーハーシステムの設定	31
サブウーハー出力レベル調整	8
サブウーハーを接続する	31
サブタイトル切りかえ	14
サンプリングレート	76
システムスイッチ	61
時刻を設定する	30
時刻を表示する	30
視聴規制 (パレンタルロック) について	73
視聴規制 (パレンタルロック) の設定	37
自動的に放送局を記憶する	22
字幕言語切りかえ	14
字幕言語設定	35
シャッフル (iPod)	56
照光スイッチの色を切りかえる	29
照光スイッチの明るさ調整	29
スキャン (CD)	16
スキャン (MP3/WMA)	19
スクロールタイプの設定	26
スクロールとは	24
スクロールの設定	26
スローモーション再生	12
静止 (一時停止) する	12
セットアップ (SETUP) について	9

た 行

対応ファイルシステム	76
対応フォーマット	76
対応メディア	76
タイトル/テキスト/スクロールとは	24
タイトル/テキストを表示する	24
タイトル番号で頭出し (DVD)	12
タイトル表示	24
タイトルをつける	25
ダウンミックス設定	40
タグ	76
チェンジャーでMD/CDを聴く	21

チャプター／トラック／タイトルリピート再生	13
チャプター／トラックの頭出し	11
チャプター／トラック番号で直接頭出し	12
低音を強調する	28
ディスタンスモード	22
テキストとは	24
テキスト表示（曲名）	24, 25
テキスト表示（ディスク名）	24, 25
テキストを表示する	56
デジタル出力設定	38
デモンストレーション機能	30
電源のON/OFF	8
電池を入れる	57
道路交通情報を受信する	23
トラフィックインフォメーション	23
取り付けと接続	59
ドルビーデジタルについて	73
トレブルセンター周波数	28
トレブルレベル調整モード	8

は 行

バスセンター周波数	28
バスレベル調整モード	8
早送り／早戻し（DVD／ビデオCD）	11
バランス調整モード	8
光デジタル対応オーディオプロセッサを接続する	34
ビットレート	76
ビデオCDについて	3
ビデオCDの使用状態を表示する	15
ビデオCDを再生する	10
ビデオCD再生モードを設定する	39
ファイルサーチ	18
ファイルNO.表示	19, 24
ファイル名表示	24, 25
フェダー調整モード	8
フォルダサーチ	18
フォルダNO.表示	19, 24
フォルダ名表示	24, 25
フォルダを選択する	18
フォルダ／ファイルサーチ	18
プレイリストから探す	54
放送局（周波数）から探す	23
放送局タイトルから探す	23
放送局を記憶する	22
本機で再生できるディスクについて	3

ま 行

マニュアルモード	22
ミックス（CD）	17
ミックス（iPod）	56
ミックス（MP3/WMA）	20
ミュートのON/OFF	29
メニュー言語設定	35
メッセージ	68

や 行

用語解説	73
------	----

ら 行

ラジオを聴く	22
リセットする	8
リニアPCM音声（LPCM）について	73
リピート（CD）	17
リピート（DVD／ビデオCD）	13
リピート（iPod）	56
リピート（MP3/WMA）	20
リモコン	57
リモコンボタンの機能	58
ローカルモード	22

アルファベット／数字

A to Z

BBEモードの設定	27
CD PLAY MODE	39
CD再生モードを設定する	39
CDテキストから探す	17
CDを聴く	16
COUNTRY CODE	37
CUSTOM SETUP	39
Dolby PRO LOGIC II について	73
DTSについて	73
DOWNMIX MODE	40
DVD-R／DVD-RWディスクのご使用について	4
DVDについて	75
DVDの使用状況を表示する	15
DVDの初期設定	35
DVDリージョン番号	3
DVDを再生する	10
DX SEEK	22
ID3タグ/WMAタグについて	76
LANGUAGES	35
M.I.X. (CD)	17
M.I.X. (iPod)	56
M.I.X. (MP3/WMA)	20
MP3再生データの設定	21
MP3とは？	76
MP3/WMAディスクを作成するには	76
MP3/WMAについて	76
MP3/WMAへ圧縮する方法	76
MP3/WMAを聴く	18
PARENTAL	37
PAUSE MODE	40
Playlistから探す	54
PRE-STOP	11
PRO LOGICについて	73
Q&A	72
REPEAT (CD)	17
REPEAT (iPod)	56
REPEAT (MP3/WMA)	20
REPEAT ALL	17
SCAN (CD)	16
SCAN (MP3/WMA)	19
SETUP	9, 35
TRF	23
TVスクリーン設定	36
VCD PLAY MODE	39

